3-861-891-**02** (1)

ビデオカメラ
レコーダー Hi8/8

取扱説明書

お買い上げいただきありがとうございます。

⚠警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。
この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**この取扱説明書と別冊の「安全のために」をよくお読みのうえ、**製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

CCD-TRV85K

video Hi8 XR / Video 8 XR
Handycam

CCD-TRV45K/TRV85K

- **この取扱説明書は、CCD-TRV45KとCCD-TRV85Kの2機種に共通です。本機をお使いになる前に、本体の底面に書かれてある機種名を確認してください。**
- 特に指示がない限り、本文中のイラストにはCCD-TRV85Kを使用しています。
- 特定の機種にのみ該当する内容には、その機種名を明記してあります。

例：ビデオやテレビの画像を録画する
（CCD-TRV85Kのみ）

機種による機能のちがい

機種名	ビューファインダー	ビデオ方式	音声・映像入力
CCD-TRV45K	白黒	8	ー
CCD-TRV85K	カラー	Hi8	○

必ずお読みください

ためし撮り

必ず事前にためし撮りをし、正常に録画・録音されていることを確認してください。

録画内容の補償はできません。

万一、ビデオカメラレコーダーなどの不具合により録画や再生がされなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

著作権について

あなたがビデオで録画・録音したものは、個人として楽しむほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、実演や興業、展示物などのうちには、個人として楽しむなどの目的があっても、撮影を制限している場合がありますのでご注意ください。

本書内の写真について

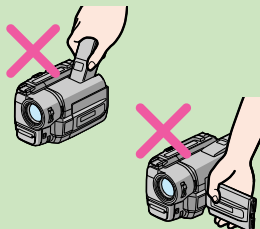
ファインダー内の映像を説明するのに、スチルカメラによる写真を使っています。実際に見えるものとは異なります。
CCD-TRV45Kのファインダー内の画像は実際には白黒です。

目次

とにかく撮って見る

必要なもの

Hi8マークのついたHi8（ハイエイト）テープをおすすめします。（CCD-TRV85Kのみ）
8マークのついたスタンダード8ミリテープをお使いください。（CCD-TRV45Kのみ）

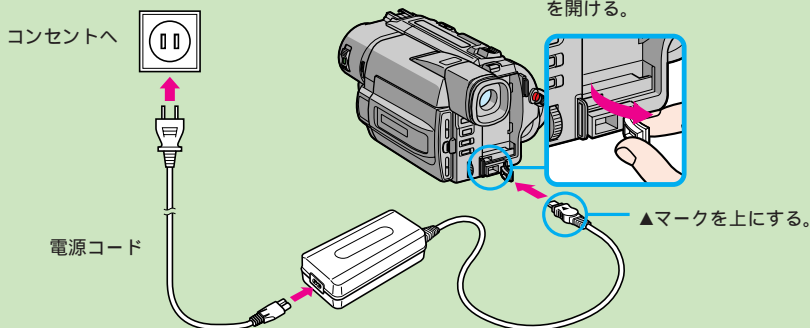
ビューファインダーや液晶画面をつかんで、本機を持ち上げないでください。

1 電源をつなぐ（42ページ）

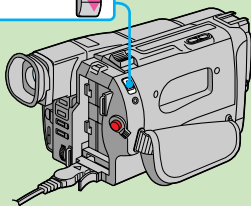
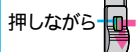
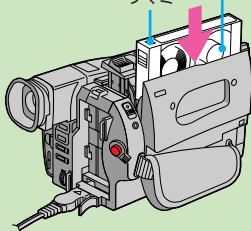
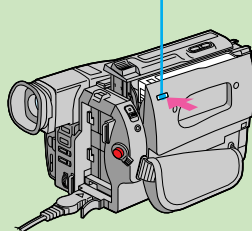
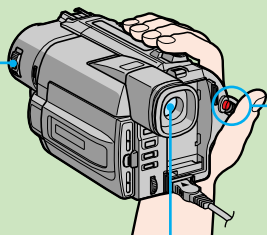
屋外ではバッテリーを使います →8ページ

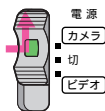
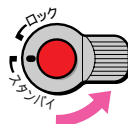
コンセントへ

DC入力端子カバーを開ける。

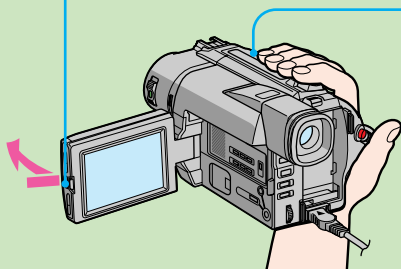
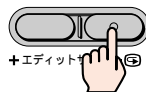
▲マークを上にする。

電源コード

2 カセットを入れる（11ページ）

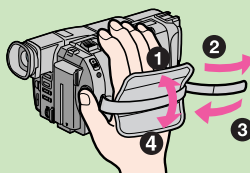
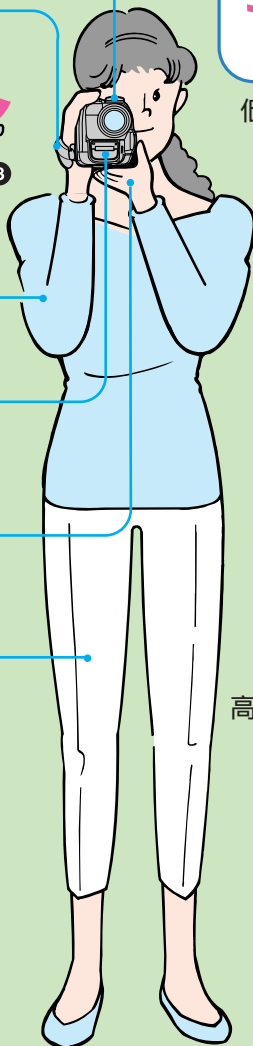
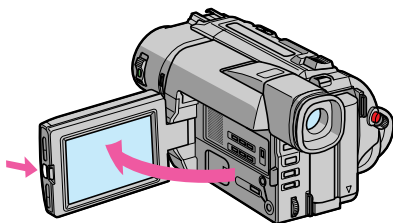
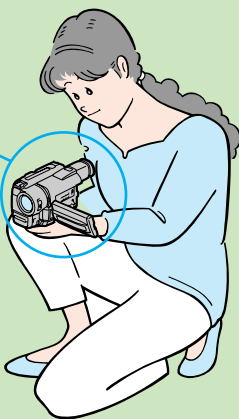
❶ **カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。**

❷ **テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にしてカセットを入れる。**

❸ **PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。（カセット入れは自動で下がります。）**

3 撮影する（13ページ）

ファインダー
この部分に目を当てて画像を見ます。

❶ **緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。**

❷ **スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。**
ファインダーに画像が見える。

❸ **赤いボタンを押す。**
撮影が始まる。
もう1度押すと止まる。

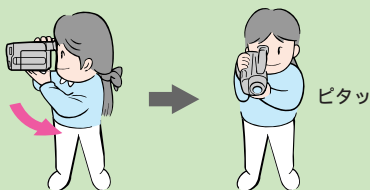
4 撮影できたか、ちょっと確認する（18ページ）

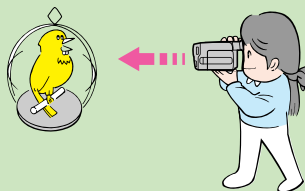
❶ **液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。**

❷ **エディットサーチ⊖ボタンをポンと1回押す。**
最後に撮影した場面を数秒間液晶画面で見られる。

本機の機能が一覧できるデモンストレーションが見られます（47ページ）。

うまく撮る姿勢

見やすい画像にするコツは、ハンディカムを動かしすぎないことです。
ふらつかないよう、安定した姿勢で撮影しましょう。

撮影の基本

ハンディカムをふり回さない。

写真のつもりで固定して撮ります。左右に動かすとき（パンニング）は、撮り終わりの方につま先を向け、ゆっくり動かします。撮り始めと終わりは、しっかり止めます。

ズームは多用しない。

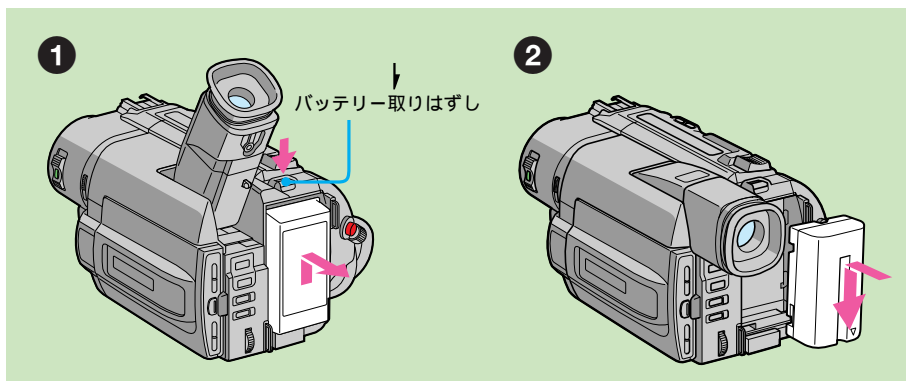
ズームレバーをW側（Wide（ワイド）：広角）にすると、ブレが少なく、ピントが合いやすい状態になります。被写体を大きく撮りたいときは近づいて撮ることをおすすめします。ズームレバーをT側（Telephoto（テレフォト）：望遠）にして撮るよりも、音もよく入り、安定したきれいな画像が撮影できます。

安定した画面にする。

- 壁によりかかるなどして安定した姿勢をとる。
- 水平、垂直の線をファインダーの枠に合わせる。

- 三脚を使う。
  ネジの長さが6.5mm未満のものをお使い下さい。ネジの長い三脚ではしっかりと固定できず、本機を傷つけることがあります。

逆光を避ける。

太陽を背にして、被写体の正面に光が当たるようにします。

準備1 バッテリーを取り付ける

バッテリーを取り付けた後は
バッテリーをつかんで本機を持ち運ばないでください。

InfoLITHIUM（**インフォリチウム）バッテリーとは**
“インフォリチウム”バッテリーに対応した機器との間で、バッテリーの使用状況に関するデータ通信をする機能を持った新しいタイプのリチウムイオンバッテリーです。
本機は“インフォリチウム”バッテリー対応です。“インフォリチウム”バッテリーには InfoLITHIUM マークがついています。
InfoLITHIUM（インフォリチウム）はソニー株式会社の商標です。

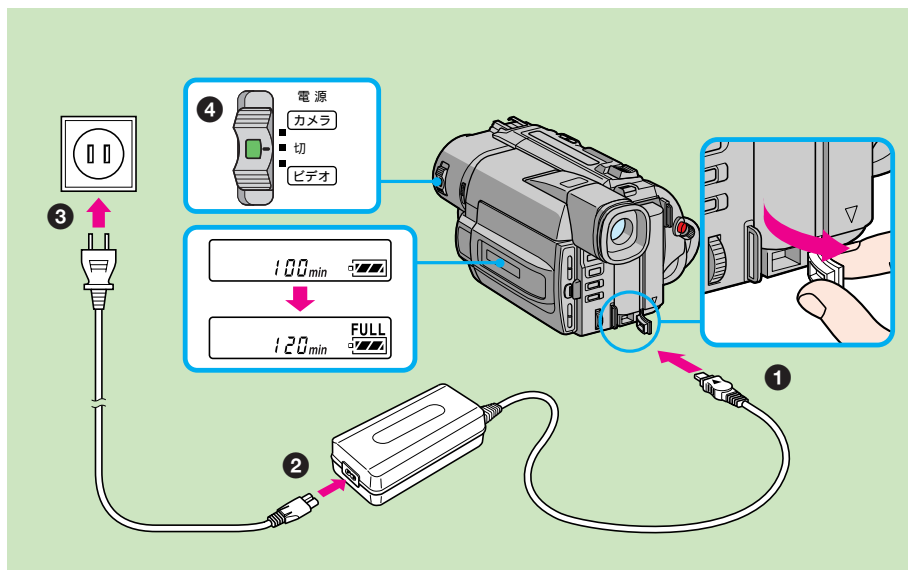
1 バッテリー取りはずしボタンを押しながらバッテリー端子カバーを上へずらし、取りはずす。

2 バッテリーを押しながら下へずらす。

バッテリーは本体に確実に取り付ける。

本体から取りはずす

手順1のようにして取りはずす。

準備2 バッテリーを充電する

ご注意

ACパワーアダプターのDCプラグを金属類でショートさせないでください。故障の原因となります。

表示窓に表示されるバッテリー残量時間は

ビューファインダーでの連続撮影時間の目安です。実際の連続撮影時間とは異なることがあります。

はじめてバッテリーを使うとき

バッテリー残量が表示窓に表示される場合があります。これは工場で若干充電して出荷するためで、この場合十分な充電はされていません。再充電されることをおすすめします。

バッテリー残量を計算するまでは

表示窓には“－－－ min ”が表示されます。

❶ **DC入力端子カバーを開け、ACパワーアダプターのコードを▲マークを上にして、本機のDC入力端子につなぐ。**

❷ **電源コードをACパワーアダプターにつなぐ。**

❸ **電源コードをコンセントにつなぐ。**

❹ **緑のボタンを押しながら、「切」にする。**

充電が始まると、表示窓にバッテリー残量時間が表示される。

充電が終わると、バッテリー残量表示が「▭」になる**（実用充電）**。さらに約1時間、「FULL」が表示されるまで充電すると若干長く使える**（満充電）**。

バッテリーの充電が終わったら
ACパワーアダプターをDC入力端子から抜いて下さい。

液晶画面とビューファインダーの両方を使って撮影するとき（16ページ）のバッテリーの使用時間は
液晶画面を使っての撮影時間より若干短くなります。

撮影中のバッテリー残量時間表示
“インフォリチウム”バッテリーをお使いのときは、あと何分連続撮影で使えるかを表示します。使用状況や環境によっては、正しく表示されない場合があります。バッテリーが寿命のときはメッセージが出ます。液晶画面を閉じたときは、開いてから正しい残量時間（分）を表示するのに約1分かかります。

充電時間

バッテリー	満充電時間	（実用充電時間）
NP-F330（付属）	約150分	（約90分）
NP-F530/CF540/F550	約210分	（約150分）
NP-F730/F750	約300分	（約240分）
NP-F930/F950	約390分	（約330分）

使い切ったバッテリーを充電したときの時間です。低温では充電時間が長くなります。

使用時間

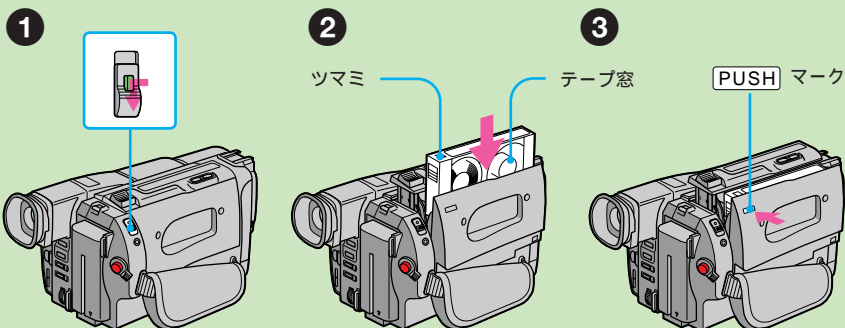
バッテリー	ビューファインダーで撮影		液晶画面で撮影	
	連続撮影時*	実撮影時**	連続撮影時*	実撮影時**
NP-F330（付属）	約125（110）分	約65（55）分	約90（80）分	約45（40）分
NP-F530	約215（190）分	約110（100）分	約145（130）分	約75（70）分
NP-CF540	約245（220）分	約125（115）分	約170（155）分	約90（85）分
NP-F550	約250（220）分	約130（115）分	約175（160）分	約95（85）分
NP-F730	約430（385）分	約225（200）分	約300（270）分	約165（145）分
NP-F750	約510（460）分	約270（240）分	約365（325）分	約200（175）分
NP-F930	約680（610）分	約360（320）分	約475（430）分	約260（235）分
NP-F950	約780（700）分	約410（370）分	約555（500）分	約305（275）分

満充電してから使用したときの時間。（　）内は実用充電してからの時間。

* 25℃で連続撮影したときの時間の目安。低温では使用時間が短くなります。

** 録画、スタンバイ、電源入／切、ズームなどを繰り返したときの撮影時間の目安。実際にはこれよりも短くなることがあります。

準備3 カセットを入れる

Hi8（ハイエイト）方式で記録するときは、Hi8マークのついたHi8テープを使います。（CCD-TRV85Kのみ）
Hi8（ハイエイト）テープを使っても、8ミリ8テープを使っても、Hi8方式でなく、スタンダード8ミリ8方式で記録します（54ページ）。8ミリ8テープをおすすめします。（CCD-TRV45Kのみ）

ご注意

- カセット入れを無理に下げないでください。故障の原因になります。
- カセット入れに指をはさまないようにご注意ください。
  はさまれたときは、約2秒後に自動的にカセット入れが開きます。

1 カセット取出しスイッチの青いボタンを押しながら矢印の方向へずらす。

カセット入れが自動的に上がって開く。

2 カセットを入れる。

テープ窓を外側に、誤消去防止ツマミを上にして入れる。

3 PUSH マークを押して、カセット入れを閉める。

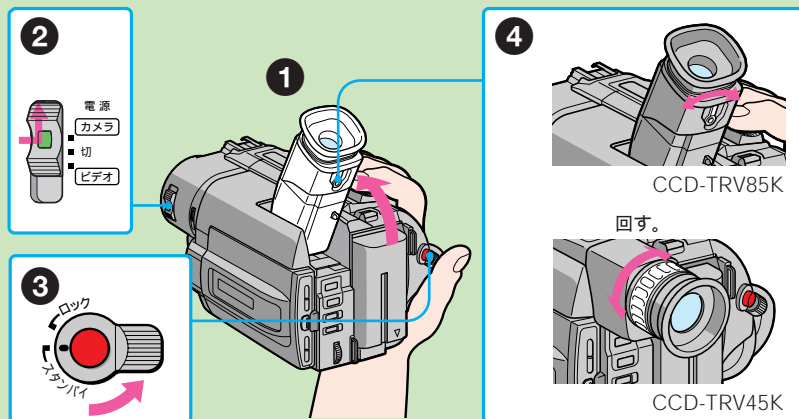
カセット入れが自動的に下がる。

カセットを取り出す

「カセットを入れる」の手順で操作し、手順2で取り出す。

準備

準備4 ファインダーを調節する

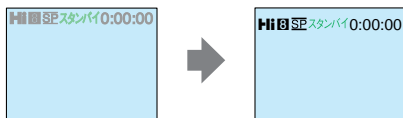
ファインダーの画像がはっきり見えないとき、自分の視力に合わせて調節します。

直射日光下では（CCD-TRV85Kのみ）
採光窓によりファインダーの画像がより明るく見えます。このとき、ファインダー内の色が変化することがあります。

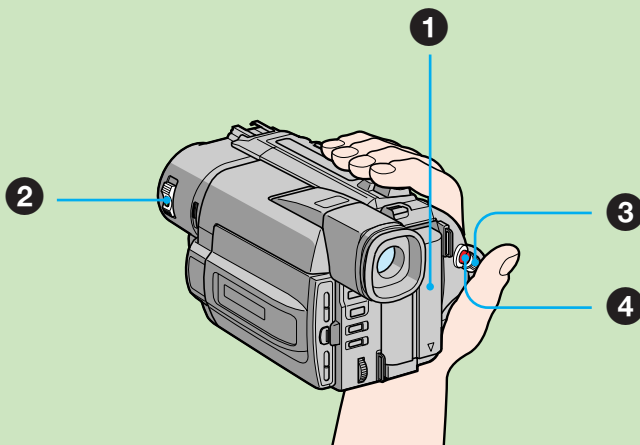
❶ ビューファインダーを上げる。（CCD-TRV85Kのみ）

❷ 緑のボタンを押しながら、「カメラ」にする。

❸ スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

❹ 視度調節ツマミを動かす。

ファインダーの文字がはっきり見えるようにする。

撮影する

ピント合わせも自動で、簡単に撮影できます。

ご注意

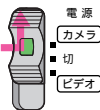
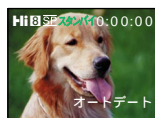
- 液晶画面やカラービューファインダーは非常に精密度の高い技術で作られていますが、黒い点が現れたり、赤や青、緑の点が消えないことがあります。故障ではありません。（有効画素99.99%以上）これらの点は、テープに記録されません。
- ファインダーや液晶画面、レンズを太陽に向けたままにすると故障の原因になります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。

テープの最初から撮影するときは
15秒ほど撮影してから本番の撮影をすることをおすすめします。テープの一番初めから撮影すると、他の再生機では初めの部分が欠けることがあります。

❶ バッテリーなどの電源を付け、カセットを入れる。

「準備1～4」（8～12ページ）をご覧ください。

❷ 緑のボタンを押しながら「カメラ」にする。

レンズカバーが開く。

❸ スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。

撮影する（つづき）

1日1回、撮影のはじめの10秒間に撮影日が自動的に記録されます（オートデート機能）
10秒間の記録が終わると「オートデート」表示は消えます。
次のときはオートデート機能が1日に2回以上働きます。
- 10秒間以内に撮影を止めたとき
- カセットを入れ換えたとき
- 日時を合わせ直したとき

きれいなつなぎ撮りのために
カセットを取り出さない限り、電源を切っても、撮影した場面はきれいにつながります。バッテリーの交換はスタンバイスイッチを「ロック」にしてから行えば、きれいなつなぎ撮りができます。

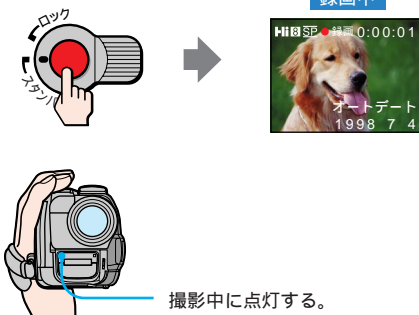
撮影スタンバイが5分以上続くと
自動的に電源が切れます。これはバッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するためです。再び撮影を始めるにはスタンバイスイッチを１度「ロック」にしてから、「スタンバイ」に戻します。

テープカウンターを「0：00：00」にするときは
カウンターリセットボタンを押します（68ページ）。

スタート/ストップボタンを押す。

撮影が始まる。
もう一度押すと止まる。

録画中

撮影中に点灯する。

撮影中の表示

これらの表示はテープには記録されません。

ハイエイト表示（CCD-TRV85Kのみ）
Hi8（ハイエイト）方式のときに出る。

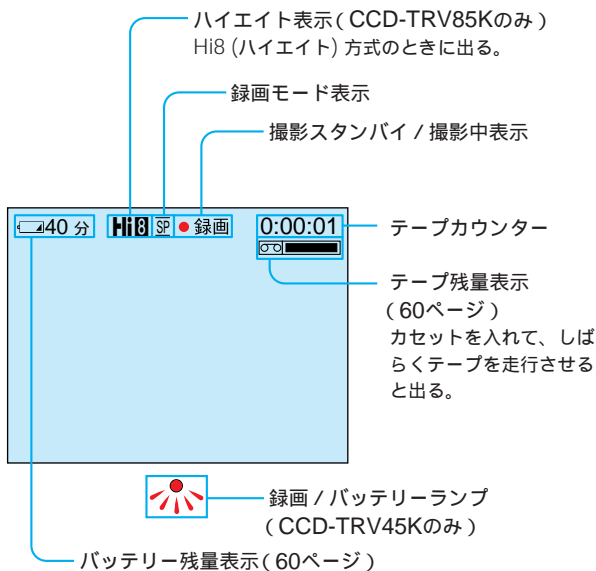
録画モード表示

撮影スタンバイ／撮影中表示

テープカウンター

テープ残量表示（60ページ）
カセットを入れて、しばらくテープを走行させると出る。

録画／バッテリーランプ（CCD-TRV45Kのみ）

バッテリー残量表示（60ページ）

ご注意

- 「5秒」「⊥」を選ぶと、フェーダーボタンは働きません。
- 「5秒」を選ぶと、テープカウンターは表示されません。

スタート/ストップモードで「5秒」を選んだとき

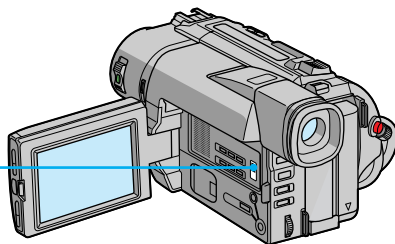
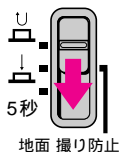
ファインダーに「●●●●●」が出て1秒たつごとに●が1つずつ消えます。撮影時間を延長するには●がすべて消えてしまわないうちに、もう1度スタート/ストップボタンを押します。押したときからまた約5秒間撮影されます。

近くのものにピントがうまく合わないときは

ズームレバーをW側に動かして広角にします。ピントが合うのに必要な被写体との距離は、W側では約1cm以上、T側では約80cm以上です。

デジタルズームについて

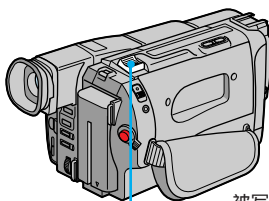
- デジタルズームを使うと、ズーム倍率は72倍までになります。
- 画像をデジタル処理するため画質が低下します。デジタルズームを使う必要がないときは、メニューで「デジタルズーム」を「切」にすると、気付かないうちにデジタルズームになるのを防ぎます（43ページ）。

スタート/ストップモードを選ぶ

∪：スタート/ストップボタンを押すと撮影が始まり、再び押すと止まります（お買い上げ時の設定）。

⊥地面撮り防止：
スタート/ストップボタンを押している間のみ撮影し、離すと止まります。地面撮りを防ぎます。

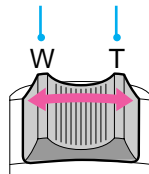
5秒：スタート/ストップボタンを押すと5秒間撮影して止まります。

ズームする

ズームレバーを動かす。

軽く動かすとゆっくりズームし、さらに動かすと速くズームする。

被写体が小さくなる
(広角：Wide[ワイド])

被写体が大きくなる
(望遠：Telephoto[テレフォト])

W　T

使いすぎると
見づらい作品になります。

18倍を超えるズームはデジタルズームになります。

このラインよりT側が
デジタルズームになります。

ご注意
液晶画面を開いているときは、ファインダーには画像が映りません。ただし、対面撮影中はファインダーにも画像が映ります。

液晶画面は
屋外では日差しの加減で見えにくい場合があります。
ビューファインダーでのご使用をおすすめします。

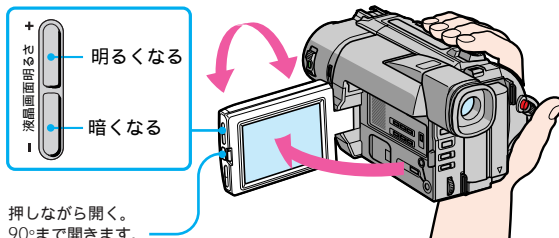
対面撮影では
液晶画面に映る画像は鏡のように左右が反転しますが、記録される画像は実際の被写体と同じになります。

対面撮影中は
以下の機能は働きません。
- メニューボタン
- タイトルボタン
- 日付ボタン
- 時刻ボタン

対面撮影中の表示
撮影スタンバイ中は❚❚●、撮影中は●が表示されます。その他の表示は左右が反転します。表示が出ないものもあります。

液晶画面を見ながら撮影する

液晶ロック解除ボタンを押しながら、液晶画面を開ける。
前方向に210°まで、手前に90°まで回転し、角度を調節できる。

液晶画面の明るさを調節する
液晶画面明るさボタンを押して調節する。

液晶画面を見せながら撮るー対面撮影

液晶画面を180°回転させると、相手に自分が撮られている映像を見せながらビューファインダーをのぞいて撮影できます。液晶画面を見ながら自分もいっしょに映ることもできます。

自分を撮るとき

液晶画面に映る映像

記録される映像

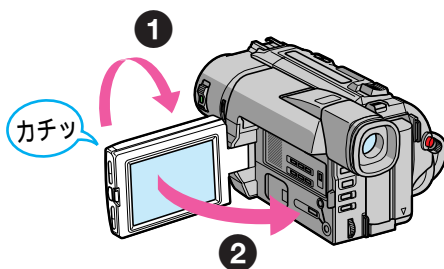
❶ ［撮影スタンバイ中］に
液晶画面を180°**回転させる。**

対面撮影モード表示 ☺ が出る。

❷ **撮影する。**

正しいバッテリー残量を表示させるために
使用後もバッテリーは付けたままにして下さい。バッテリーは付けたままでも減りは少なく、蓄電されています。

液晶画面を閉じるとき

液晶画面をカチッというまで垂直にしてから本体に戻す。

撮影が終わったら

1 **スタンバイスイッチを「ロック」にする。**

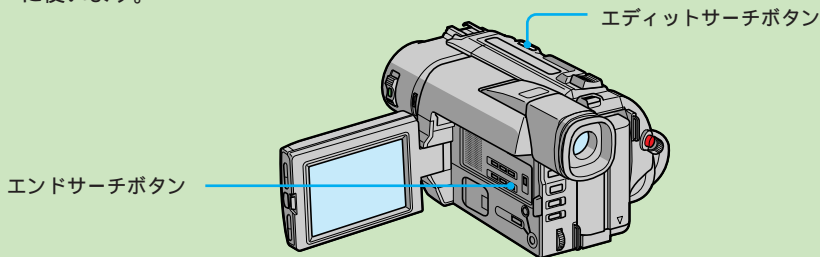
2 **カセットを取り出す。**

3 **電源スイッチを「切」にする。**

撮影内容を確認する

撮った画面が気になるときや、最後に撮影した画面からつなぎ撮りしたいときに使います。

エディットサーチボタン

エンドサーチボタン

ご注意

エンドサーチをしてからつなぎ撮りをすると、まれに場面がきれいにつながらないことがあります。

長い内容を確認したいとき

電源スイッチを「ビデオ」にして、液晶画面やファインダーで再生画像が見られます。操作は19ページ「再生する」の手順2から5までと同じです。

撮影後、カセットを取り出すと

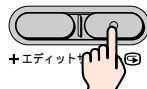
エンドサーチの機能は働きません。

エンドサーチとは？

本機では、録画後にカセットを取り出すまで、録画を終えたテープの位置を記憶しています。エンドサーチはこの位置を探す機能です。カセットを取り出すと位置の記憶が消えるので、エンドサーチが働きません。

最後の場面を確認する－レックレビュー

[撮影スタンバイ中］に

エディットサーチボタンの－側をポンと1回押す。

最後に撮影した場面が数秒間出て、再び撮影スタンバイに戻る。

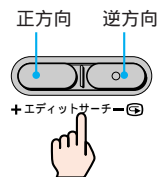
スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

正方向または逆方向に再生する－エディットサーチ

[撮影スタンバイ中］に

エディットサーチボタンの再生したい側を押し続ける。

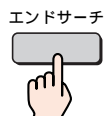
指を離したところが、次の撮影開始点になる。

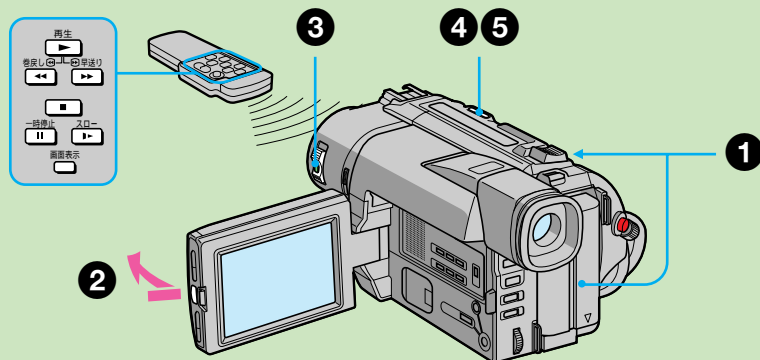
音は出ない。

最後に撮影した終わりの部分に戻る－エンドサーチ

[撮影スタンバイ中］に

エンドサーチボタンを押す。

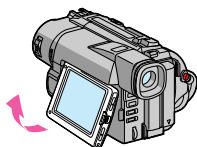
最後に撮影した終わりの約5秒間が再生されて止まる。

スピーカーまたはヘッドホンで音も確認できる。

再生する

撮影したテープなどを液晶画面で見ます。ファインダーでも見られます。
リモコンでも操作できます。

ご注意

- 電源スイッチを「ビデオ」にすると、レンズカバーは開きません。手で開けないでください。故障の原因になります。
- 外国製のビデオソフトのなかには、カラーテレビ方式が異なるため本機で再生できないものもあります。

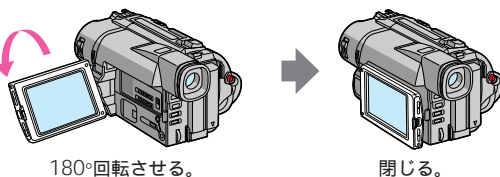
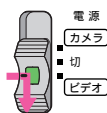
液晶画面を閉じると
スピーカーから音が出ません。液晶画面を外側に向けて閉じているときは、音が出ます。

液晶画面が見にくいときは
液晶画面の角度を調節します。

15°まで回転します。

❶ バッテリーなどの電源を付け、再生したいカセットを入れる。

❷ 液晶画面を開ける。

液晶画面を外側に向けて本体に閉じることもできます。

180°回転させる。　　閉じる。

❸ 緑のボタンを押しながら、「ビデオ」にする。

ビデオ操作ボタンが点灯する。

液晶画面での再生時間

バッテリー	再生時間
NP-F330（付属）	約90（80）分
NP-F530	約145（130）分
NP-CF540	約170（155）分
NP-F550	約175（160）分
NP-F730	約300（270）分
NP-F750	約365（325）分
NP-F930	約475（430）分
NP-F950	約555（500）分

満充電してから使用したときの時間。（ ）内は実用充電してからの時間。
低温では使用時間が短くなります。

4 巻戻しボタンを押す。

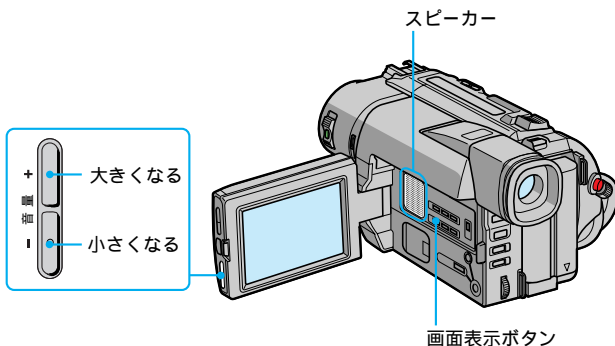
巻き戻しが始まる。

5 再生ボタンを押す。

画像が映る。

音量を調節する

本体の音量ボタンを押して調節する。

ヘッドホンの音量も調節できる。

カウンターなどの表示を出すー画面表示機能

本体またはリモコンの画面表示ボタンを押す。

液晶画面に表示が出る。消すときはもう1度押す。

電源スイッチが「カメラ」のときは、押すと表示が消せます。

変速再生中は
音声は出ません。

一時停止（静止画）について
5分以上続くと自動的に停止状態になります。再生するときは、もう1度▷再生ボタンを押します。

スロー再生について
1分以上続くと自動的にふつうの再生に戻ります。

LPモードで録画したテープは
一時停止（静止画）、スロー再生、ピクチャーサーチすると、画面にノイズが出ることがあります。

いろいろな再生

止める

［再生中］に□停止ボタンを押す。

静止画を見る

［再生中］に❚❚一時停止ボタンを押す。

もう1度押すか、▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

早送りする

［停止中］に▶▶早送りボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

巻き戻す

［停止中］に◀◀巻戻しボタンを押す。

▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

画像を見ながら早送り／巻き戻しする（ピクチャーサーチ）

［再生中］に▶▶早送り／◀◀巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、ふつうの再生に戻る。

早送り／巻き戻し中に画像を見る（高速アクセス）

［早送り中］または［巻き戻し中］に▶▶早送り／◀◀巻戻しボタンを押し続ける。
離すと、早送りまたは巻き戻しに戻る。

スロー画を見る

［再生中］にリモコンのスロー❚▶ボタンを押す。

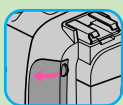
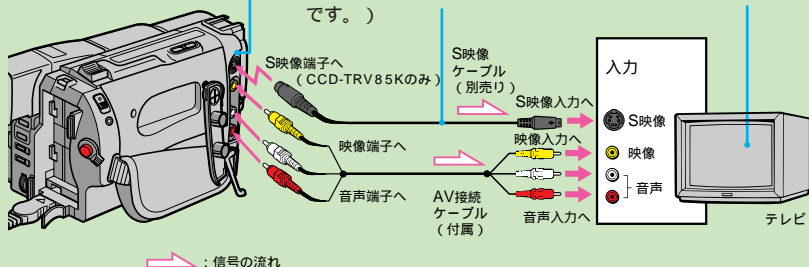
▷再生ボタンを押すとふつうの再生に戻る。

最後に撮影した部分を探す（エンドサーチ）

［停止中］にエンドサーチボタンを押す。

最後に撮影した終わりの部分を約5秒間再生して止まる。

テレビで見る

撮影したテープなどをテレビで見るときは、本機を付属のAV接続ケーブルでつなぎます。再生のしかたは液晶画面で見るときと同じです。
電源は付属のACパワーアダプターを使って、コンセントからとることをおすすめします（42ページ）。接続する機器の取扱説明書もご覧ください。

テレビで見るときは
液晶画面を閉じてください。

テレビ画面にカウンターなどの表示を出すには
メニューで「画面表示」を「ビデオ出力／パネル」にし（43ページ）、本体またはリモコンの画面表示ボタンを押します。消すときはもう1度押します。

すでにテレビにビデオがつながっているとき

本機をビデオの外部入力端子につなぐ。

ビデオの入力切り換えスイッチは「外部入力（ライン）」にしてください。

音声入力端子がひとつ（モノラル）のテレビにつなぐとき

AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぐ。（赤いプラグは接続不要です。）

音声はモノラルです。

映像／音声入力端子のないテレビにつなぐとき

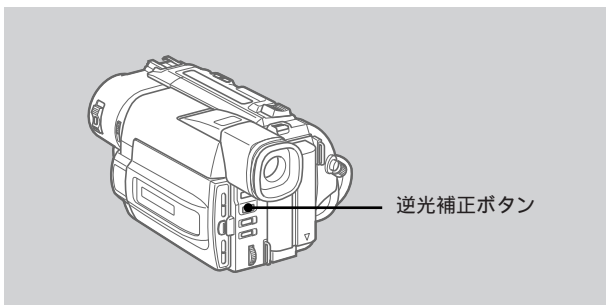
別売りのRFUアダプターでつなぐ。

テレビとRFUアダプターの取扱説明書をご覧ください。音声はモノラルです。

逆光を補正する

逆光のときは背景が明るすぎて被写体が暗めになるので、明るさ補正をして撮ります。

- 被写体の背後に光源があり、被写体が暗く映るとき。
- 画面の中に強い光を発するものがあるとき。
- 白い服を着た人物が白い壁の前にいるとき。

明るさボタンを押すと
逆光補正は解除されます。

［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
逆光補正ボタンを押す。

逆光補正表示が出る。
被写体の明るさが補正される。

逆光補正を解除する

逆光補正ボタンをもう1度押して、逆光補正表示を消す。

効果的な場面転換をする－フェーダー－

余韻を残して場面を変えたり徐々に画像と音を出したり（フェードイン）、逆に徐々に消したり（フェードアウト）して効果的な場面転換を演出できます。

モノトーンフェーダー

フェードインは白黒からカラーに、
フェードアウトはカラーから白黒になります。

※メニューでデジタルズームが「入」になっているときは使えません。

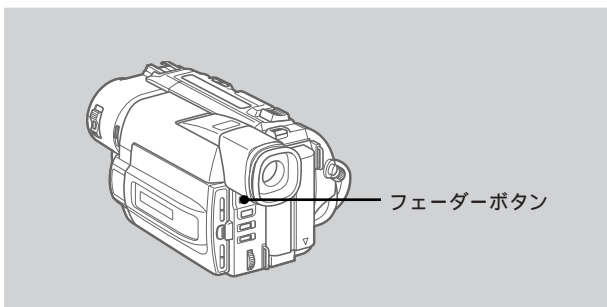
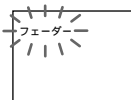
ご注意

こんなときに使うと効果的です
- 大きな場面転換（フェードイン・フェードアウト）
- 物語の始めなど（フェードイン）
- 一日の終わりなど（フェードアウト）
- 余韻を残して場面を変える

フェードを多用すると
被写体の状況がわかりづらくなり、見づらい映像になります。

日付や時刻表示、タイトルはフェードしません
不要の場合は日付、時刻表示、タイトルを消してから行ってください。

スタート／ストップモードが「⊥」または「5秒」のとき
フェードイン・フェードアウトはできません。

バウンド中には以下の操作ができません
- 明るさ調節
- フォーカス
- ズーム

❶ • フェードインは [撮影スタンバイ中] に
• フェードアウトは [撮影中] に
フェーダーボタンを押して希望のフェーダーモード表示を出す。

押すたびに変わります。
フェーダー→モザイクフェーダー→ストライプフェーダー（CCD-TRV85Kのみ）→バウンド→モノトーンフェーダー→（表示無し）
表示は前回使ったモードから表示されます。

バウンドを使うときは
メニューでデジタルズームを「切」にしてください。

以下の操作中にはバウンドが表示されません。
- ワイドTVモード
- ピクチャーエフェクトボタンを使う操作
- プログラムAEボタンを使う操作

❷ **スタート/ストップボタンを押す。**

フェーダーモード表示が点滅から点灯に変わり、フェード終了後に消える。フェードイン、フェードアウトはフェード終了後に自動的に解除される。

フェードイン・フェードアウトを解除する

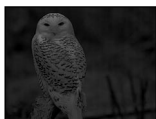
フェード終了後：自動的に解除される。

フェード前：スタート／ストップボタンを押す前に再度フェーダーボタンを押し、フェーダーモード表示を消す。

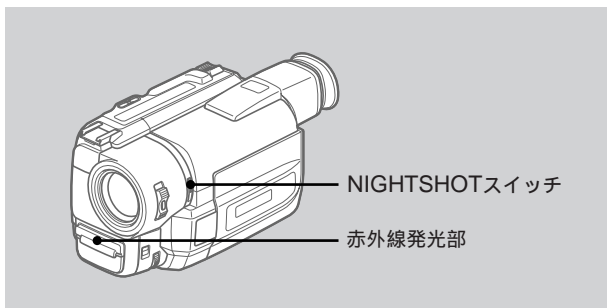
暗闇で撮る－NIGHTSHOT（ナイトショット）

夜間、明かりのない場所で撮影することができます。

夜行性の動植物を観察するときやキャンプなど。

通常の撮影

ご注意

- NIGHTSHOTで撮影中の画像は、正しい色が表現されません。
- NIGHTSHOT時、オートフォーカスが合いにくい時は、マニュアルフォーカスをご使用ください。

NIGHTSHOT**ライトは**
赤外線のため、目には見えません。ライトの届く範囲は約3mです。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
NIGHTSHOT**スイッチを「入」にする。**

❷ **スタート／ストップボタンを押す。**

NIGHTSHOTインジケーターと『“ NIGHTSHOT ”』が出る。

NIGHTSHOT**を解除する**

NIGHTSHOTスイッチを「切」にする。

NIGHTSHOT**ライトを使うとき**

メニューで「N.S.ライト」を「入」にする。（43ページ）
画像はよりはっきりします。

横長の画面にする—ワイドTVモード

再生したときに横長の画面になるように撮影します。接続するテレビの取扱説明書もあわせてご覧ください。

- ワイドテレビで画面いっぱいに映るようにしたいとき。
- ふつうのテレビで上下に黒い帯を入れて横長の画面にしたいとき。

ワイドシネマモード撮影中

テレビで再生

ワイドテレビで再生

テレビをズームモードに切り換える

ワイドフルモード撮影中

テレビで再生*

*画像が縦長になります。

ワイドテレビ*で再生

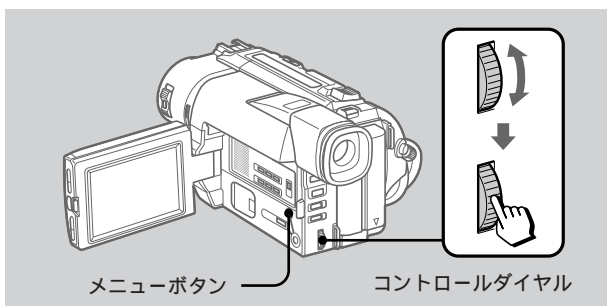
テレビをフルモードに切り換える

「ワイドフル」を選ぶと
手ぶれ補正は働きません。手ぶれ補正が働いているときに「ワイドフル」を選ぶと が点滅し、手ぶれ補正は働かなくなります。

ワイドTVモード中は
フェーダーのバウンドはできません。

日付・時刻表示は
「ワイドフル」で記録すると、ワイドテレビで見る場合は横長の文字になります。

ビデオIDシステム（ID-1）方式対応テレビに接続すると
ワイドTVモードで記録されたテープを再生すると、自動的にモードが切り換わって画面いっぱいに映ります。

録画中は
ワイドTVモードを選んだり、解除したりできません。

[撮影スタンバイ中] に
メニューで希望のワイドTVモードを選ぶ。
（43ページ）

ワイドTVモードを解除する

メニューで「切」を選ぶ。

画像に特殊効果を加える – ピクチャーエフェクト

画像にデジタル処理をして、テレビや映画の
ような特殊効果を加えられます。

パステル
→淡い色のパステル画のように

ネガアート
→写真のネガフィルムのように

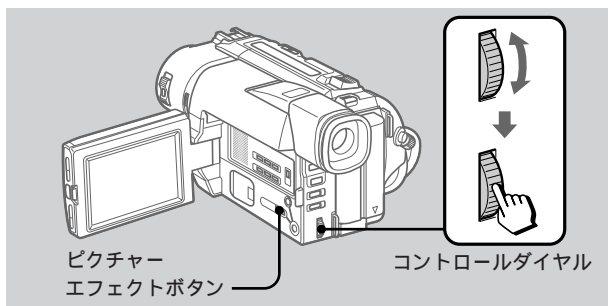
ソラリ
→明暗をはっきりさせたイラストのように

モザイク
→タイルを組み合わせたように

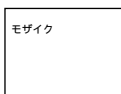
スリム
→縦に引き伸ばしたように

ストレッチ
→横に引き伸ばしたように

セピア→古い写真のような色合いに　**モノトーン**→白黒に

ピクチャーエフェクトは
電源スイッチを「切」にすると自動的に解除されます。

1 [撮影スタンバイ中] または [撮影中] に
ピクチャーエフェクトボタンを押す。

ピクチャーエフェクト表示が出る。

2 **コントロールダイヤルを回して希望のピクチャーエフェクト表示を出す。**

モザイク

次の順で変わります。
パステル↔ネガアート↔セピア↔モノトーン↔ソラリ↔モザイク↔スリム↔ストレッチ

ピクチャーエフェクトを解除する

ピクチャーエフェクトボタンを押す。

画像の明るさを調節する

画像をお好みの明るさに手動調節し、固定することができます。自動では被写体がはっきり映るように調節するため、実際よりも明るく映ることがあります。

- 逆光補正を細かく行いたいとき。
- 背景に比べて、被写体が明るすぎるとき。

ご注意

明るさ調節しているときは逆光補正はできません。

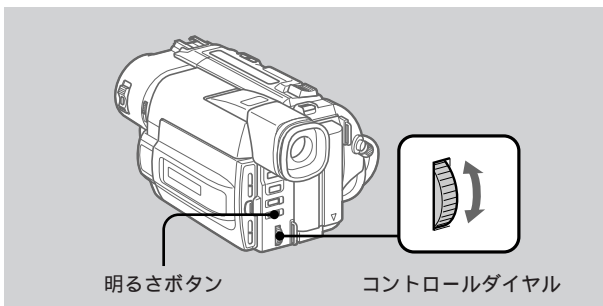
こんなときに使うと効果的です

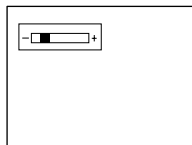
夜景を撮りたいときなど

コントロールダイヤルは両方向へ回ります。

回転が止まる位置はありません。

明るさを調節しているときにプログラムAEのモードを変えると

明るさ調節は自動に戻ります。

❶ [撮影スタンバイ中] または [撮影中] に
明るさボタンを押す。

明るさ表示が出る。

❷ **コントロールダイヤルを回し、明るさを調節する。**

自動調節に戻す

明るさボタンを押す。

使いこなすー撮影ー

目的に合わせて撮る – プログラムAE

被写体や撮影状況により適した調節を自動的に行います。

スポットライトモード
結婚式や舞台など、強い光が当たっている被写体を撮影するときに人物の顔などが白く飛んでしまうのを防ぎます。

ソフトポートレートモード
人物、花などを撮影するときに背景をぼかして被写体を引き立てると同時に、ソフトな印象の映像になるようにします。また肌色がきれいになるようにします。

スポーツレッスンモード
ゴルフ、テニスなどの速い動きを撮影するときに被写体のぶれを少なくします。

ビーチ&スキーモード
真夏の砂浜や、冬山（スキー場）などの照り返しが強い場所で撮影するときに、人物の顔などが暗くなるのを防ぎます。

サンセット&ムーンモード
夕焼け、夜景、花火、ネオンサインを撮影するときに、雰囲気を損なわずに撮影することができます。

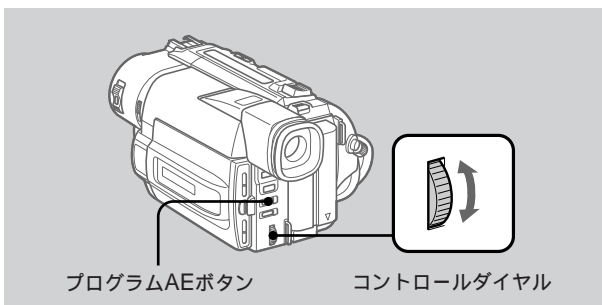
風景モード
山などの遠くの景色を撮影するときに景色をはっきりさせ、風景を窓ガラスや金網越しに撮影する場合、手前のガラスや金網にピントが合うのを防ぎます。

ご注意

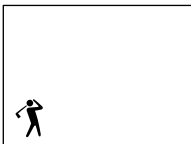
- 次のモードでは近くのものにピントが合わないようにフォーカスを制御します。
  －スポットライトモード
  －スポーツレッスンモード
  －ビーチ＆スキーモード
- 次のモードでは遠景のみにピントが合うようにフォーカスを制御します。
  －サンセット＆ムーンモード
  －風景モード

蛍光灯、ナトリウム灯、水銀灯など放電管による照明下で撮影すると

次のモードでは画面が明るくなったりする現象（フリッカー）が起こったり、色が変化することがあります。このような場合にはプログラムAEを解除してください。

– ソフトポートレートモード
– スポーツレッスンモード

❶ ［撮影スタンバイ中］に
プログラムAEボタンを押す。

プログラムAEモード表示が出る。

❷ **コントロールダイヤルを回して希望のプログラムAEモード表示を出す。**

次の順で変わります。
スポットライトモード↔ソフトポートレートモード↔スポーツレッスンモード↔ビーチ&スキーモード↔サンセット&ムーンモード↔風景モード

プログラムAEを解除する

プログラムAEボタンを押す。

使いこなす－撮影－

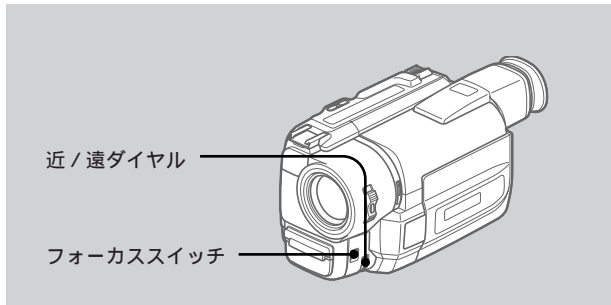
手動でピントを合わせる

撮影状況に応じて、手動でピント合わせができます。

- 自動ではピントが合いにくいとき。
- 手前の被写体から後方の被写体へと、意図的にピントの合う位置を変えたいとき。
- 三脚を使って静止した被写体を撮るのにピントを固定したいとき。

こんなときに使うと効果的です。

- 被写体が水滴のついた窓ごしにあるとき
- 被写体が横縞だけのもののとき
- 被写体と背景とのコントラストが弱いとき

このようなときには自動でピントが合いにくいことがあります。

暗い室内で撮るときや明るい野外で動きの激しいものを撮るとき

T側（望遠）で手動ピント合わせをしたあと、なるべくW側（広角）で撮ります。

近づいて大きく撮るとき

ズームをW側（広角）いっぱいにしてピントを合わせます。

手動でピント合わせをするとき、が次のようなマークに変わります。

- 無限遠にあるとき。
- それ以上近くにピント合わせをすることができないとき。

1 ［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に**フォーカススイッチを「手動」にする。**

手動ピント合わせ表示が出る。

2 **近／遠ダイヤルを回し、ピントの合う位置を調節する。**

自動調節に戻すとき

フォーカススイッチを「自動」にする。

ピントを無限遠にして撮影する

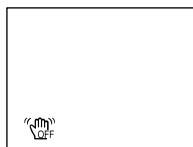
フォーカススイッチを「無限」に合わせると、ピントは無限遠になる。

指を離すとピント合わせが手動に戻る。

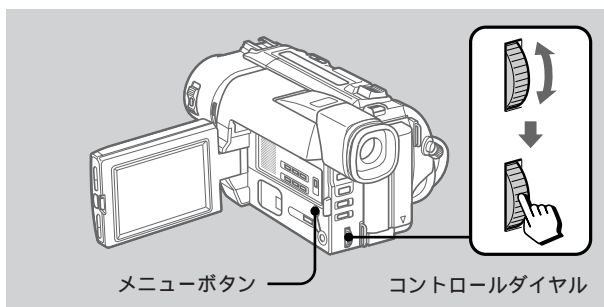
遠くの被写体を撮りたいのに、近くの被写体にピントがあってしまうときに使います。

手ぶれ補正を解除する

手ぶれ補正はカメラの揺れを検知して、その揺れを補正します。ハンディカムを手に持って撮るときに効果があります。

三脚に取り付けるなど手ぶれの心配がないときは、手ぶれ補正を「切」にしたほうが自然な画像になります。

手ぶれ補正「入」　手ぶれ補正「切」

ご注意

- 手ぶれ補正が「入」になっていても、手ぶれが大きすぎると、補正しきれないことがあります。
- テレコンバージョンレンズ(別売り)を取り付けると、手ぶれ補正が効きにくくなります。
- ワイドモードを「ワイド フル」にして撮影すると、手ぶれ補正は働きません。「ワイド フル」のときは が点滅します。

[撮影スタンバイ中] または [撮影中] に
メニューで「手ぶれ補正」を「切」にする。
(43ページ)

手ぶれ補正「切」表示 が出る。

手ぶれ補正を働かせるとき

メニューで「手ぶれ補正」を「入」にして、手ぶれ補正「切」表示 を消す。

タイトルを入れる

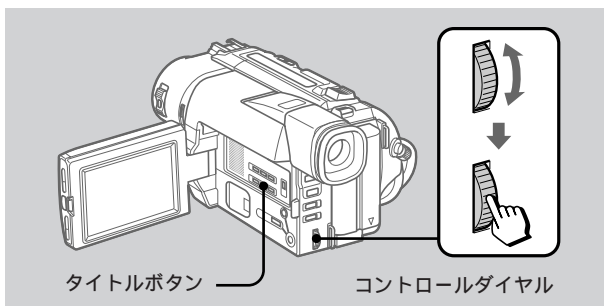
撮影中にタイトルを入れることができます。あらかじめ記憶している8種類のタイトルと、自分で作ったオリジナルタイトル2種類（36ページ）の中から内容にあったものを選べます。また、タイトルの色やサイズ、表示位置も選べます。

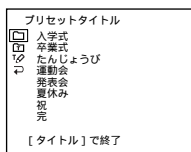
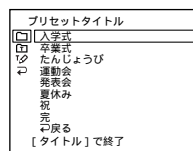
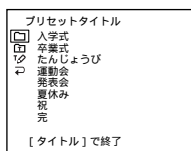
ご注意

- タイトル文字のサイズや位置によっては、日付・時刻表示の両方、または片方が表示されないことがあります。
- 12文字をこえるタイトルには「おおきい」サイズの設定はできません。12文字をこえるとサイズの決定後、通常サイズに戻ります。

タイトルを入れて撮影しているときは
メニューを出すとメニューが出ている間はタイトルが記録されません。

オリジナルタイトルを入れるときは
手順2で「🄣」を選びます。オリジナルタイトルが作成されていないと、タイトル表示欄に「– – –...」と表示されます。

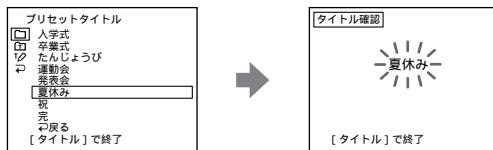
タイトルが表示されていると
液晶画面明るさ調節と音量調節はできますが、表示は出ません。

撮影の始めから入れるとき

❶ ［撮影スタンバイ中］に**タイトルボタンを押す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して、「🗀」を選び、ダイヤルを押す。**

設定表示と表示順
「色設定」
しろ←→きいろ←→むらさき←→あか←→みずいろ←→みどり←→あお
「サイズ設定」
ちいさい←→おおきい
「位置設定」
1←→2←→3←→4←→5←→6←→7←→8←→9
大きい数字になるほど位置が下になります。
サイズ設定で「おおきい」を選んだときは、9の位置は選べません。

タイトルの選択／設定操作をしているときは
画面に出ているタイトルは記録できません。

撮影の途中でタイトルを入れるときは
おしらせブザーは鳴りません。

❸ コントロールダイヤルを回して、入れたいタイトルを選びダイヤルを押す。

タイトルが点滅する。

❹ 色、サイズ、位置を選択する。

表示されているタイトルの色、サイズ、位置でよいときは手順5にすすむ。

1 **コントロールダイヤルを回して「色設定」または「サイズ設定」、「位置設定」を選び、ダイヤルを押す。**

選べる項目が出る。

2 **コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。**

3 **必要なだけ1、2を繰り返す。**

❺ コントロールダイヤルを押して、タイトルを表示させる。

❻ 撮影を始める。

❼ タイトルを消したい場面でタイトルボタンをもう一度押す。

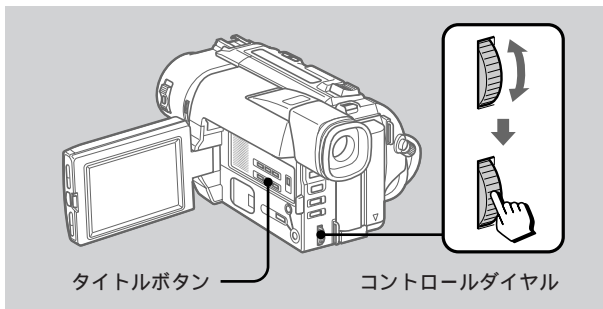
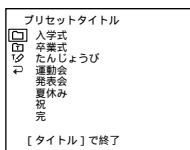
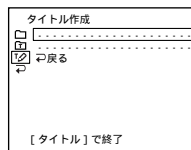
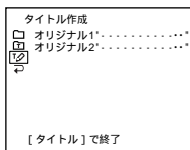
撮影の途中でタイトルを入れるとき

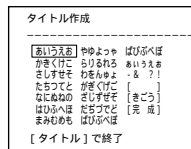
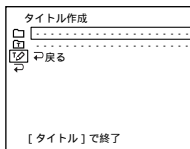
撮影中に、タイトルボタンを押し、「撮影の始めから入れるとき」の手順2から5を行う。手順5でコントロールダイヤルを押した時、タイトルが入る。

タイトルを作る

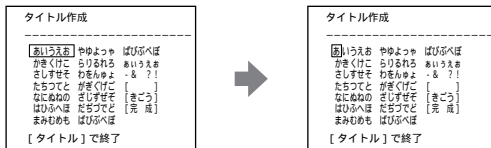
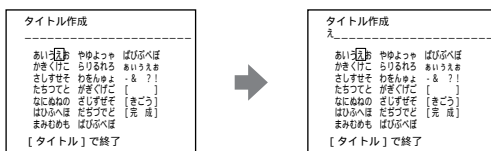
20文字以内のタイトルを自分で作って2種類まで本機に記憶できます。

手順6で、作ったタイトルが20文字になると
それ以上の文字を選択することはできません。

撮影スタンバイ状態で、カセットを入れてタイトルを作成中に5分以上たつと自動的に電源が切れます
それまで作成したタイトルは残っています。1度スタンバイスイッチを下げてからもう1度上げて、はじめからやり直してください。
5分以上かかりそうなときはビデオにしておくかカセットを取り出しておけば電源は切れません。

❶ ［撮影スタンバイ中］または［ビデオ］のとき**タイトルボタンを押す。**

❷ **コントロールダイヤルを回して、「T✎」を選び、ダイヤルを押す。**

❸ **コントロールダイヤルを回して、1行目または2行目の「–––…」を選び、ダイヤルを押す。**

1行目はオリジナル1。2行目はオリジナル2。

［きごう］を選ぶと
アルファベットや数字などが選べる画面が出ます。［かな］を選ぶと、元の画面に戻ります。

文字を消すとき
［←］を選びます。一番後ろの文字が消えます。

❹ コントロールダイヤルを回して、希望の文字列を選び、ダイヤルを押す。

❺ コントロールダイヤルを回して、希望の文字を選び、ダイヤルを押す。

❻ 手順4、5を繰り返して希望のタイトルを作る。

❼ コントロールダイヤルを回して、［完成］を選び、ダイヤルを押す。

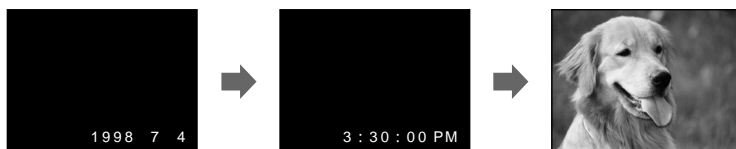
タイトルが記憶される。

❽ タイトルボタンを押して、タイトル画面を消す。

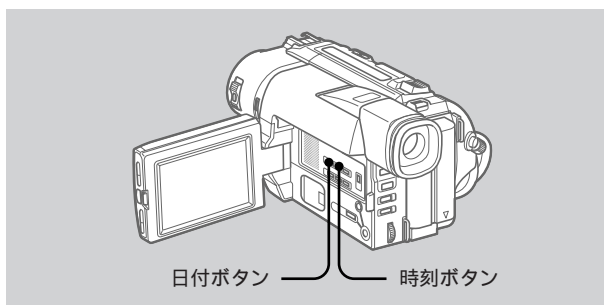
作成したタイトルを変更する

タイトル選択画面で変更したいオリジナルタイトルを選び、ダイヤルを押す。
［←］を選び、ダイヤルを押して文字を消し、文字を選び直す。

撮影中に手動で日時を記録する

オートデート機能（14ページ）の他に操作中好きなところで日付・時刻を画像にかさねて記録することができます。あらかじめ10秒ほど黒画面を背景に日時のみを記録し、本番の撮影のときは日時を消しておくことをおすすめします。
ずっと日時を入れたままにすると、再生したときに映像の邪魔になったり、編集のときに表示の日時が前後してしまったりします。

ご注意

- 「オートデート」表示が出ている間は、日付・時刻ボタンは働きません。
- 手動で記録した日時は消せません。

こんなときに使うと便利です
データコード対応ではないビデオ機器で再生や編集などを行うとき。

［撮影スタンバイ中］または［撮影中］に
日付を入れる→日付ボタンを押す。
時刻を入れる→時刻ボタンを押す。
日付と時刻を同時に入れる→日付ボタンと時刻ボタンを押す。

表示を消すとき

もう1度押す。

テープに合わせてきれいに撮る－ORC設定

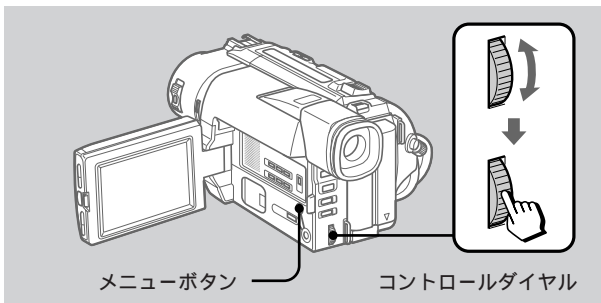
テープの種類や状態に合わせて、最適な状態で録画できるようにします。

カセットを入れて撮影を始める前。

カセットを取り出すと
設定が解除されます。
カセットを入れるたびに設定し直してください。

カセットの背の誤消去防止ツマミが赤くなっているテープには
ORC設定はできません。

録画済みのテープにORC設定をすると
約0.1秒間の無記録部分ができます。ただし、その部分から続けて撮影すれば無記録部分はなくなります。

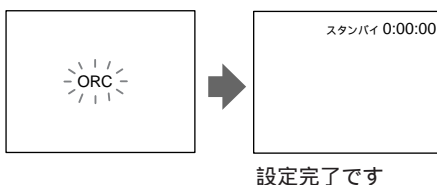
ORC設定を確認するとき
メニュー画面を出して、「ORC設定」を選びます。
「完了」表示が出たらORCは設定済です。

❶ ［撮影スタンバイ中］に
メニューボタンを押す。

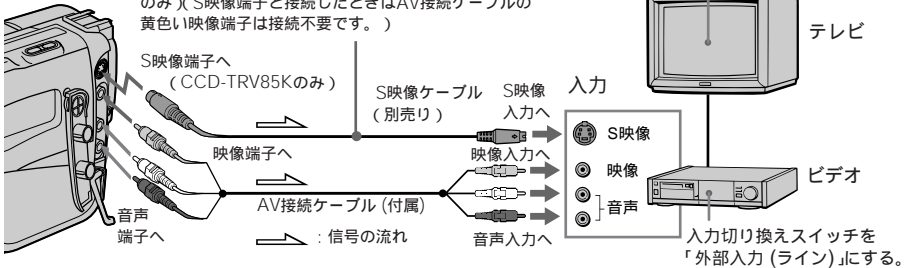
❷ **コントロールダイヤルを回して、アイコン「📼」を選び、ダイヤルを押す。**

❸ **コントロールダイヤルを回して、「ORC設定」を選び、ダイヤルを押す。**

カメラ録画ボタンを
おしてください

❹ **スタート／ストップボタンを押す。**
ORC表示が点滅する。
設定が終わると（約10秒後）撮影スタンバイに戻る。

設定完了です

他のビデオへ録画する

本機を再生機、他のビデオを録画機として使い、ダビング・編集ができます。

カウンターなど画面表示を出しているときは
録画側のテープに記録されます。表示を消しておくことをおすすめします。

相手側のビデオは以下のどの方式のビデオでも使えます。
8, Hi8, VHS, VHSC, SVHS, SVHSC, β

録画側ビデオの音声入力がひとつ (モノラル) の場合
AV接続ケーブル（付属）の黄色のプラグを映像入力へ、白いプラグを音声入力へつなぎます。（赤いプラグはどちらにもつながないでください。）音声はモノラルです。

ファインシンクロエディット対応
本機を再生機として、ファインシンクロエディット機能を持つビデオデッキと本機のLANC端子 (69ページ) をLANCケーブル（別売り）でつなげば、より精度の高い編集ができます。

1. **本機に撮影済みのカセットを、他のビデオに録画用のカセットを入れる。**
2. **本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。**
3. **メニューで「エディット」を「入」にする。(43ページ)**
4. **本機のテープを再生し、他のビデオに録画したい場面より少し前でII一時停止ボタンを押す。**
5. **録画機を録画一時停止状態にする。**
6. **本機のII一時停止ボタンを先に押し、数秒後に録画機のIIを押す。**

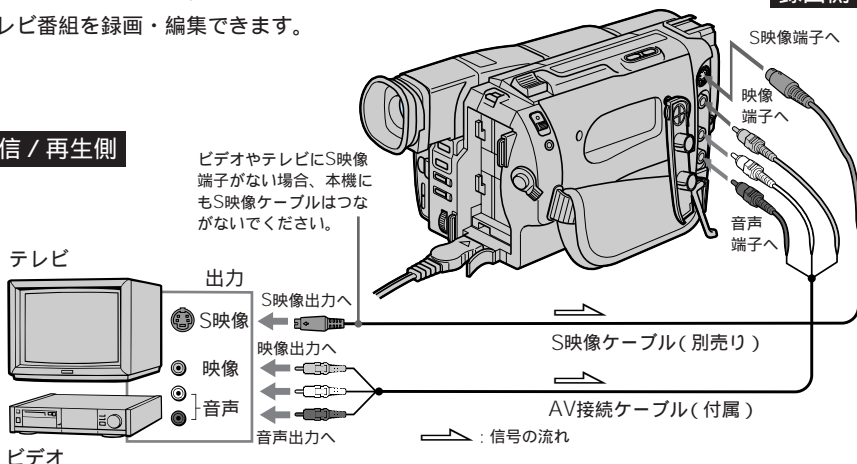
   ダビング・編集が終わったら、メニューで「エディット」を「切」にする。

タイトルを入れるとき

「タイトルを入れる」（34ページ）の手順を行う。

ビデオやテレビの画像を録画する

（CCD-TRV85Kのみ）

本機を録画機として使い、他のビデオの画像やテレビ番組を録画・編集できます。

ご注意

- 二重音声放送は記録できません。
- 本機の音量は最小にしておいてください。画像が乱れることがあります。

ビデオやテレビの音声出力端子がひとつ（モノラル）の場合
AV接続ケーブル（付属）の黄色いプラグを映像出力へ、白いプラグを音声出力へつなぎます。（赤いプラグはどちらにもつながないでください。）音声はモノラルです。

S映像端子付きのビデオやテレビにつなぐとき
S映像ケーブルをつなぐと、録画画像がより鮮明になります。

1 本機に録画用のカセットを、他のビデオに録画済みのカセットを入れる。

2 本機の電源スイッチを「ビデオ」にする。

3 メニューで「画面表示」を選び「パネル」にする。（43ページ）

ビデオやテレビの画像が液晶画面またはファインダーに出る。

4 本機を録画一時停止にする。

●録画ボタンを2つ同時に押し、すぐに❚❚一時停止ボタンを押す。

5 他のビデオで再生を始める。または、録画したいテレビ番組を受信する。

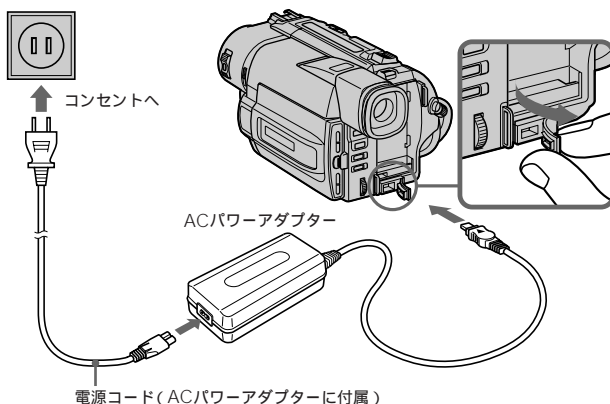
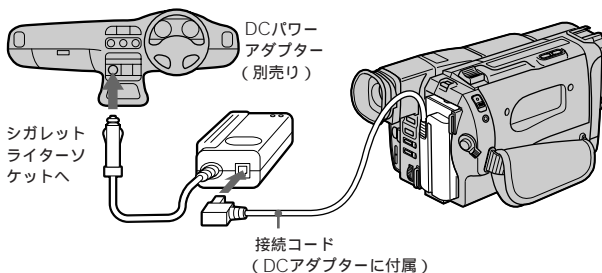
6 録画したい場面で❚❚一時停止ボタンを押して録画を始める。

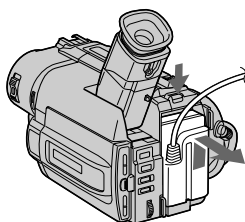
バッテリー以外の電源で使う

テープを再生するときなど長時間使用するときは、家庭用のコンセントや自動車の電源を使うとバッテリー切れの心配なく使えます。

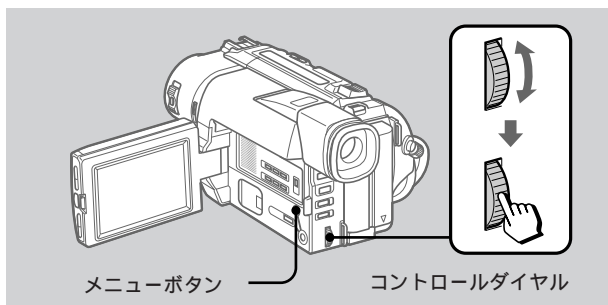
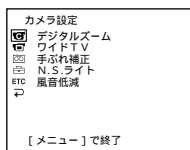
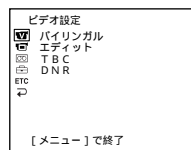
ご注意

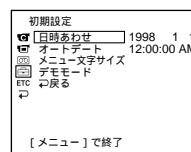
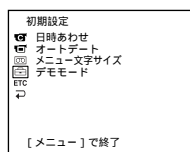
電源供給はDC入力端子が優先されます。バッテリーで使用するとき、コンセントから電源コードを抜いても、DC入力端子にコードが差し込まれているとバッテリーから電源は供給されません。

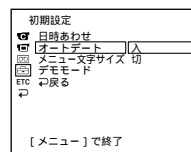
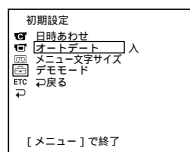
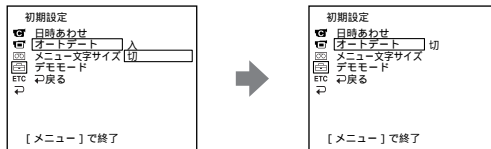
コンセントにつないで使う

自動車電源につないで使う

接続プレートを取りはずす

バッテリー取りはずしボタンを押しながら上へずらす。

メニューで設定を変える

ご注意

対面撮影中は、液晶画面、ファインダーにメニュー画面が出ません。

1 [撮影スタンバイ中] または [ビデオ] のとき
メニューボタンを押す。

**撮影スタンバイ中のとき
(「カメラ」のとき)**

「ビデオ」のとき

2 **コントロールダイヤルを回して希望のアイコンを選び、ダイヤルを押す。**

3 **コントロールダイヤルを回して希望の項目を選び、ダイヤルを押す。**

次のページへつづく

❹ コントロールダイヤルを回して設定を切り換え、ダイヤルを押す。

❺ 必要なだけ手順2〜4を繰り返す。

手順2に戻るには、コントロールダイヤルを回して「↩戻る」を選び、ダイヤルを押す。

メニュー画面を消す

メニューボタンを押す。

各設定項目の説明　お買い上げ時は、下表の●印側に設定されています。

電源スイッチが「ビデオ」または「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
パネルバックライト※	●明るさノーマル	ー	通常はこの位置へ。
	明るい	液晶画面を明るくする。	液晶画面が暗いとき。
パネル色のこさ		液晶画面の色のこさを調節する。	→詳しくは48ページ。
録画モード（CCD-TRV45Kは「カメラ」のときのみ）	●SP	SP（標準）モードで録画する。	通常はこの位置へ。
	LP	SPモードの2倍の録画時間で録画する。	長時間録画したいとき。
テープ残量表示	●オート	以下のときにテープ残量を表示する。1. 電源／テープを入れた後、テープ残量が確定してから8秒間。2. ▷再生ボタンまたは画面表示ボタンを押してから8秒間。3. 早送り、巻き戻し、ピクチャーサーチ中。	通常はこの位置へ。
	入	テープ残量を常に表示する。	テープ残量が気になるとき。
メニュー文字サイズ	●ノーマル	通常の大きさでメニュー表示をする。	通常はこの位置へ。
	2×	選択されたメニュー項目を縦2倍角で表示する。	メニュー画面が見えにくいとき。
ETC おしらせブザー	●入	撮影スタート／ストップ時や、誤った操作をしたときにブザーが鳴る。	通常はこの位置へ。
	切	ブザー音が鳴らない。	ブザー音を消したいとき。
ETC リモコン	●入	付属のワイヤレスリモコンが働く。	通常はこの位置へ。
	切	リモコンが働かない。	他機のリモコンによって誤動作するときなど。
ETC 画面表示	●パネル	カウンターなどの画面表示を液晶画面とファインダーに出す。	通常はこの位置へ。
	ビデオ出力／パネル	テレビ画面にも画面表示を出す。	テレビで見るときに画面表示を出したいとき。

LPモードについて
本機のLPモードで録画したテープは本機で再生することをおすすめします。
他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキで再生すると、映像や音声にノイズが出ることがあります。他のビデオカメラレコーダーやビデオデッキのLPモードで録画したテープを本機で再生する場合も同様です。

※「明るい」または「バックライト入」を選ぶと撮影時のバッテリー使用時間が約１割短くなります。
バッテリー以外の電源で使うときはパネルバックライトは自動的に「明るい」になり、インジケーターは自動的に「バックライト入」になります。
このとき、メニューにパネルバックライト、インジケーターの項目は表示されません。

使いこなすーその他の使いかたー

次のページへつづく

項目	設定	意味	どんなとき
ETC インジケーター※	●バックライト切	表示窓のバックライトを消す。	電源を節約するとき。
	バックライト入	表示窓のバックライトをつける。	表示窓の表示が見えにくいとき。

電源スイッチが「ビデオ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
V バイリンガル	●切	ステレオ音声または主＋副音声で再生する。	→詳しくは54ページ。
	メイン	モノラル音声または主音声で再生する。	
	サブ	副音声で再生する。	
V エディット	●切	ー	通常は必ずこの位置へ。
	入	編集時の画質劣化を低減する。	ダビング・編集で本機を再生機として使うとき。
V TBC（CCD-TRV85Kのみ）	●入	ジッター（再生時の画像の横ユレ）を低減する。	通常はこの位置へ。
	切	補正を止める。	画像の乱れ補正を止めたいとき。
V DNR（CCD-TRV85Kのみ）	●入	画像の色ノイズを目立たなくする。	通常はこの位置へ。
	切	ー	動きの激しい画像で残像が目立つとき。

電源スイッチが「カメラ」のとき

項目	設定	意味	どんなとき
C デジタルズーム	●入	ズームが18倍を超えるとデジタルズームが働く。（72倍まで）	通常はこの位置へ。
	切	デジタルズームを使用しない。（ズームは18倍まで）	デジタルズームで画質が低下するのを避けるとき。

ご注意

- 「エディット」、「バイリンガル」、「TBC」、「DNR」は、再生時のみ働く機能です。
- 「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」のとき画面表示ボタンを押すと、外部入力ができなくなります。

次のようなテープを再生するときは、「TBC」を「切」にしてください。

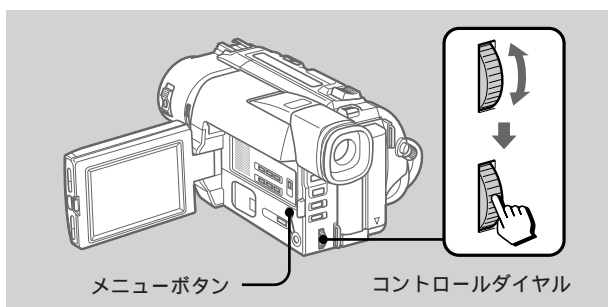
- ダビング等を繰り返した
- ゲーム機の信号などを記録した

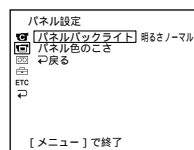
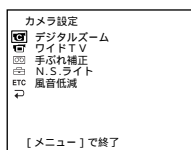
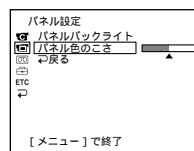
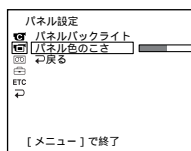
電源をはずして5分以上たつと
以下のメニュー項目はお買い上げ時の設定に戻ります。
「風音低減」、「リモコン」、「エディット」、「バイリンガル」
その他のメニュー項目は、ボタン型リチウム電池が入っていれば、電源をはずしても設定を保持しています。

項目	設定	意味	どんなとき
ワイドTV	●切	ー	通常はこの位置へ。
	ワイドシネマ	ワイドシネマモードで撮影する。	→詳しくは27ページ。
	ワイドフル	ワイドフルモードで撮影する。	
手ぶれ補正	●入	手ぶれ補正が働く。	通常はこの位置へ。
	切	手ぶれ補正が働かない。	→詳しくは33ページ。
N.S.ライト	●入	NIGHTSHOTライトを使用する。	→詳しくは26ページ。
	切	NIGHTSHOTライトを使用しない。	
風音低減	●切	ー	通常はこの位置へ。
	入	「ボコボコ」という風音 (低音) を低減する。	風がある場所で撮影するとき。
ORC設定		テープに最適な状態で録画設定する。	→詳しくは39ページ。
日時あわせ			時計を合わせ直すとき。 →詳しくは49ページ。
オートデート	●入	1日1回撮影のはじめ10秒間、オートデート機能が働く。	通常はこの位置へ。
	切	オートデート機能を解除する。	撮影日を記録したくないとき。
デモモード	●入	デモンストレーションを表示する。	本機の機能を一覧するとき。
	切	デモンストレーションを表示しない。	デモンストレーションを表示したくないとき。
ETC 時差補正		時差の設定をする。	→詳しくは51ページ。
ETC 録画ランプ	●入	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯する。	通常はこの位置へ。
	切	本体前面の録画ランプが撮影中に点灯しなくなる。	被写体に撮影していることを意識させたくないとき。

デモンストレーションは

- カセットが入っている場合はメニューで入／切ができません。
- お買い上げ時は「スタンバイ」に設定されています。
  カセットを入れずに電源スイッチを「カメラ」にすると約10分後にデモンストレーションが始まります。
- すぐに見るには、カセットを取り出してメニューで「入」を選び、メニュー画面を消します。電源を切ると自動的に「スタンバイ」に戻ります。
- カセットを入れると、デモンストレーションが中断されます。通常の撮影には影響ありません。デモンストレーションの設定は自動的に「スタンバイ」に戻ります。
- NIGHTSHOTスイッチを「入」にしていると、『“ NIGHTSHOT ”』が表示され、デモンストレーションは始まりません。また、メニューでも「デモモード」が選べません。

液晶画面の色のこさを調節する

❶ ［撮影スタンバイ中］または［ビデオ］のとき
メニューボタンを押す。

❷ **コントロールダイヤルを回して、アイコン「」を選び、ダイヤルを押す。**

❸ **コントロールダイヤルを回し、「パネルの色のこさ」を選び、ダイヤルを押す。**

❹ **コントロールダイヤルを回し、色のこさを調節して、ダイヤルを押す。**

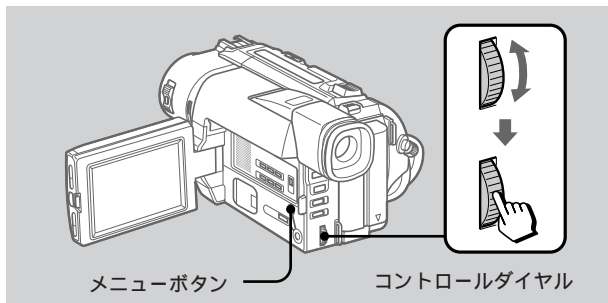
❺ **メニューボタンを押す。**

メニュー画面が消える。

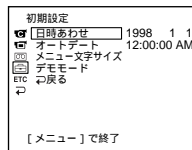
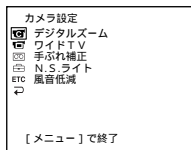
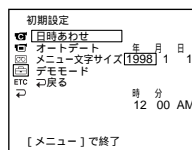
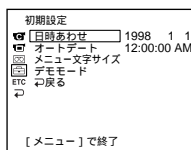
日付・時刻を合わせ直す

お買い上げ時には、あらかじめ日付・時刻は設定されています。

ボタン型リチウム電池を交換するときにも、電源を取り付けたまま行えば、日付・時刻を合わせ直す必要はありません。

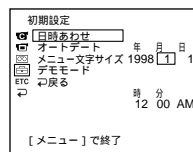
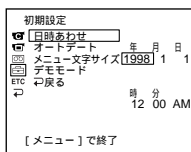
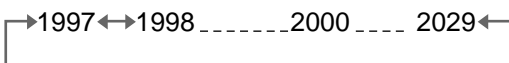
電源を取り付けていないときにボタン型リチウム電池が消耗したとき。

年→月→日→時→分の順で合わせます。

1 ［撮影スタンバイ中］に
メニューボタンを押す。

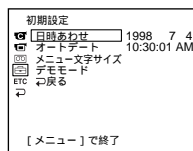
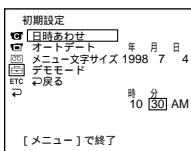
2 **コントロールダイヤルを回してアイコン「 」を選び、ダイヤルを押す。**

3 **コントロールダイヤルを回して「日時あわせ」を選び、ダイヤルを押す。**

真夜中、正午は
真夜中は12:00:00AM、正午は12:00:00PMと表示します。

❹ **「年」を合わせる。**

コントロールダイヤルを回して「年」を合わせ、ダイヤルを押す。

年表示は次のように変わる。

❺ **手順4と同様に「月」、「日」、「時」を合わせる。**

❻ **「分」と「秒」を合わせる。**

「分」を合わせて時報と同時にコントロールダイヤルを押す。時計が動き始める。

❼ **メニューボタンを押す。**

メニュー画面が消え、時刻表示が出る。時刻表示を消すには、時刻ボタンを押す。

日付・時刻を確認する

日付を確認する→日付ボタンを押す。

時刻を確認する→時刻ボタンを押す。

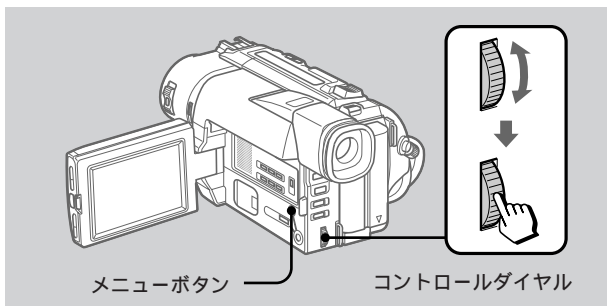
日付と時刻を同時に確認する→日付ボタンと時刻ボタンを押す。

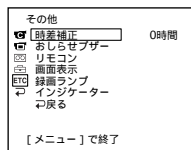
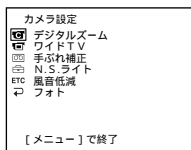
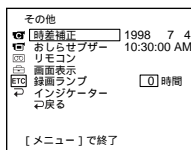
もう1度押すと消える。

時差補正

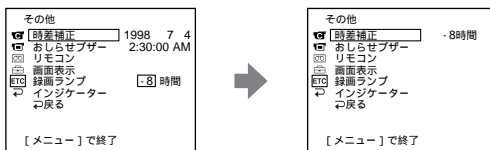
時差を設定するだけで時刻を現地時間に合わせることができます。また、時差を0に設定することにより、簡単にもとの場所の時間に戻すこともできます。

海外など、時差がある場所で撮影するときなど。

時刻が設定されていないと
時差補正の設定はできません。

1 ［撮影スタンバイ中］に
メニューボタンを押す。

2 **コントロールダイヤルを回してアイコン「ETC」を選び、ダイヤルを押す。**

3 **コントロールダイヤルを回して「時差補正」を選び、ダイヤルを押す。**

次のページへつづく

❹ コントロールダイヤルを回して時差を設定し、ダイヤルを押す。

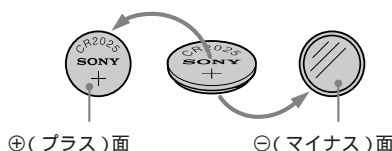
時刻も時差に合わせて変わる。

❺ メニューボタンを押す。

メニュー画面が消える。

ボタン型リチウム電池を交換する

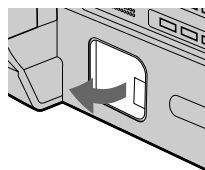
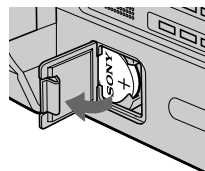
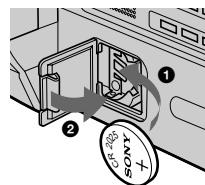
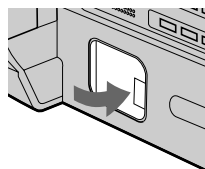
電源をつけたまま交換します。

ボタン型リチウム電池は⊕と⊖の向きを正しく入れてください。ボタン型リチウム電池が必要なのは、合わせた日付・時刻などを電源の入／切に関係なく保持するためです。電池は市販のボタン型リチウム電池CR2025を使用してください。

電源スイッチを「カメラ」にするとファインダーに「ボタン型リチウム電池を取りかえてください」のメッセージが出るとき。

ボタン型リチウム電池について

- ボタン型のリチウム電池を誤って飲み込むことのないよう、本機および電池は特に幼児の手の届かないところに置いてください。
- 万一電池を飲み込んだ場合には、直ちに医師と相談してください。
- 接触不良を防ぐため、使用する前に電池を乾いた布でよくふいてください。
- 分解や加熱をしたり、ショートさせたり、火の中に入れたりしないでください。破裂するなどの危険があります。また、捨てるときは燃えないゴミとして適宜、処理してください。

買い上げ時に装着済みのボタン型リチウム電池は
1年もたないことがあります。

❶ **液晶画面を開け、ボタン型リチウム電池ぶたを開ける。**

❷ **ボタン型リチウム電池を押し下げながら、引き出す。**

❸ **新しいボタン型リチウム電池**CR2025**を⊕（プラス）面が見えるようにはめ込む。**

❹ **ボタン型リチウム電池ぶたを閉める。**

使えるビデオカセットと記録・再生方式

記録・再生するときのテープの種類

Hi8（ハイエイト）テープHi8（CCD-TRV85Kのみ）とスタンダード8ミリテープ8が使えます。

Hi8 **（ハイエイト）テープ：**
　自動でHi8方式の録画→再生

スタンダード8**ミリテープ：**
　自動でスタンダード方式の録画→再生

他のカメラで撮ったテープを本機で再生するときは録画方式を自動で判別します。

Hi8方式:従来のスタンダード8ミリ方式をもとに、さらに高画質、高解像度を追求するために開発されたビデオ方式です。
Hi8方式で録画すると、Hi8方式対応でないビデオ機器では正常に再生できません。
ただし、CCD-TRV45Kは、Hi8方式で録画されたテープを再生することができます。

video Hi8 XR/Video 8 XR とは

video Hi8 XR*/Video 8 XR*とは、video Hi8/Video 8の画質を更に追求した機能で、詳細部分もより鮮明に録画再生することができます。
XR機で記録されたテープは、XR機で再生した時に最大の効果がでます。

本機で録画したテープを従来のHi8/8機で再生したり、従来のHi8/8機で記録されたテープを本機で再生した時は、通常のHi8/8画質になります。

* XRはExtended Resolutionの略

著作権信号について

（CCD-TRV85Kのみ）

記録するとき

著作権保護のための信号が記録されているテープは本機で録画することはできません。
このようなテープを録画しようとすると液晶画面やファインダーに「ダビングプロテクトされています録画できません」の表示が現れます。なお、ビデオカメラで撮影した画像には、著作権保護のための信号は記録されません。

音声多重記録テープを再生するとき

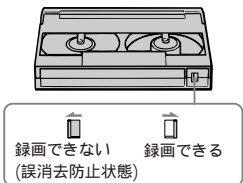
AFM Hi-Fiステレオ方式で二重音声を記録したテープを再生するときは、下の表のように必要に応じてメニューの「バイリンガル」を設定してください。メニューは電源スイッチを「ビデオ」にして出します。（43ページ）

メニューの「バイリンガル」の設定	スピーカーから聞こえる音声	
	ステレオを記録したテープ	二重音声を記録したテープ
「切」にする	ステレオ音声	主音声+副音声
「メイン」にする	モノラル音声	主音声
「サブ」にする	不自然な音声になります	副音声

本機では二重音声は記録できません。

ご注意

次の場合、音声はモノラルです。
– 本機のAFM Hi-Fiステレオ方式で記録したテープをモノラル方式の8ミリビデオで再生する場合。
– モノラル方式の8ミリビデオで記録したテープを本機で再生する場合。

間違って消さないために
カセットの背にある誤消去防止ツマミを横にずらして「赤」にします。

“インフォリチウム”バッテリーをご利用いただくために

バッテリー残量はこうして計算される

ビデオカメラレコーダー使用時の消費電力は、その使用状況（オートフォーカスがどのような働きをしたかなど）に合わせて変化します。つまり、使用状況によってバッテリーの消費量は異なります。

“インフォリチウム”バッテリーは、ビデオカメラレコーダーの使用状況を確認しながら、その消費電力を測り、電池残量を計算しています。そのため、使用状況の変化によっては、残量表示が一度に2分以上減ったり、増えたりすることがあります。

ご注意

残量時間が5〜10分と表示されているときでも、使用環境によっては液晶画面またはファインダーに⊂⊐が点滅することがあります。

より正しいバッテリー残量を得るには

ビデオカメラレコーダーを「撮影スタンバイ」にして、静止している被写体に約30秒以上向けたままにしておいてください。このとき、ビデオカメラレコーダーは動かさないでください。

もし、正しい残量を表示していないと思われる場合は、バッテリーを再度満充電してください。ただし、高温／低温での長時間使用や、何度も充電を繰り返したバッテリーは、満充電をしても正しい表示に戻らないことがあります。

取扱説明書に記載されている連続撮影時間と残量表示が異なる理由

撮影時間は、周囲の温度や環境などにより変化し、低温下で使用すると撮影時間は特に短くなります。

取扱説明書に記載の連続撮影時間は、満充電（または実用充電）したバッテリーを摂氏25度の環境下で使用したときの値です。実際の使用では、周囲の温度や環境が異なるため、残量時間が取扱説明書に記載の連続撮影時間とは異なることがあります。

故障かな？と思ったら

修理にお出しになる前に、もう1度点検してみましょう。それでも正常に動作しないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店、ソニーサービス窓口またはお客様ご相談センターにお問い合わせください。

ファインダーや液晶画面に「C:□□:□□」のような表示が出たときは、自己診断表示機能が働いています。62ページをご覧ください。

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
スタート／ストップボタンを押してもテープが走行しない。	•電源スイッチが「カメラ」になっていない。	•「カメラ」にする。	13
	•テープが終わりになっている。	•巻き戻すか、新しいテープを入れる。	11、21
	•カセットが誤消去防止状態になっている。	•そのテープで撮るなら赤いツマミを元に戻す。または新しいテープを入れる。	54
	•テープがヘッドドラムに貼りついている (結露)。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	63
すぐに撮影が止まる。	スタート／ストップモードスイッチが「 」または「5秒」になっている。	スタート／ストップボタンを押すごとに撮影を始める／止めるようにするときは、「 」にする。	15
電源が途中で切れる。	撮影スタンバイ状態が5分以上続いたとき、バッテリーの消耗を防ぎ、テープを保護するために自動的に電源が切れます。	1度スタンバイスイッチを下げてから、もう1度上げる。	13
インテリジェントアクセサリーシューにアクセサリーを付けて本機を使用しているとき、電源が入ったり切れたりする。（CCD-TRV85K**のみ）**	ACパワーアダプターを使っている。	バッテリーを使用する。	–
ファインダーの画像がはっきりしない。	視度調節が正しくない。	視度調節する。	12
手ぶれ補正が働かない。	•手ぶれ補正スイッチが「切」になっている。	•「入」にする。	33
	•ワイドTVボタンで「ワイド フル」を選んでいる。	•「ワイド フル」にすると手ぶれ補正は働きません。	27
オートフォーカスが働かない。	•手動ピント合わせになっている。	•フォーカススイッチを「自動」にする。	32
	•オートフォーカスが働きにくい状態で撮影している。	•手動でピントを合わせて撮影する。	32

撮影中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
フェーダーボタンが働かない。	スタート／ストップモードスイッチが「5秒」または「⊥」になっている。	「U」にする。	15
ファインダー内に⊗が点滅している。	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	63
ファインダーの画像が消えている。	液晶画面が開いている。	液晶画面を使って撮影しないときは液晶画面を閉じる。	17
ろうそくの火やライトなどを暗い背景の中で撮ると、縦に帯状の線が出る。	背景とのコントラストが強い被写体の場合に出る現象で、故障ではありません。	ー	ー
明るい被写体を写すと、縦に尾を引いたような画像になる。	スミア現象といい、故障ではありません。	ー	ー
液晶画面やビューファインダーに見慣れぬ画面が現れる。	カセットを入れずに電源を「カメラ」にして10分たつと、自動的にデモンストレーションが始まります。	カセットを入れるとデモンストレーションが中断される。デモンストレーションが出ないようにすることもできます。	47
画像の色が正しくない。	NIGHTSHOTが「入」になっている。	「切」にする。	26

次のページへつづく

故障かな？と思ったら（つづき）

再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
ビデオ操作ボタンが働かない。	•電源スイッチが「ビデオ」になっていない。 •テープが終わりになっている。	•「ビデオ」にする。 •テープを巻き戻す。	19 21
画像がぼけたり、映らなかったりする。	•テレビのビデオ用チャンネルが正しく調整されていない。 •メニューの「エディット」が「入」になっている。 •ビデオヘッドが汚れている。	•調整し直す。 •「切」にする。 •別売りのクリーニングカセットできれいにする。	22 43 63
音声が小さい。または聞こえない。	•メニューの「バイリンガル」を「サブ」にしてステレオで記録されたテープを再生している。 •音量を最小にしている。	•「バイリンガル」を「切」にする。 •音量を大きくする。	43 20

撮影中・再生中

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
電源スイッチをビデオ／カメラにしても動作しない。	•バッテリーが消耗している／入っていない／消耗が近い。 •ACパワーアダプターのプラグがコンセントからはずれている。	•充電されたバッテリーを取り付ける。 •コンセントに差し込む。	8、9 4、42
エンドサーチが働かない。	•撮影後にカセットを取り出した。 •カセットを入れてからエンドサーチボタンを押すまでに、1度も撮影していない。	ー ー	18 18
バッテリーの消耗が早い。	•温度が極端に低いところで撮っている。 •充電が不充分。 •バッテリーそのものの寿命。	ー •充分に充電する。 •新しいバッテリーに交換する。	ー 9 8
カセットが取り出せない。	•電源（バッテリーやACパワーアダプター）がはずれている。 •バッテリーが消耗している。	•電源をきちんと接続する。 •充電されたバッテリーを取り付ける。	42 8、9
や⏏が点滅し、カセット取出しスイッチ以外働かない。	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	63

その他

こんなときは	これが原因です	次のことを点検してください	参照ページ
付属のワイヤレスリモコンが働かない。	•メニューの「リモコン」を「切」にしている。	•「入」にする。	43
	•リモコンと本体のリモコン受光部の間に障害物がある。	•障害物を取り除く。	ー
	•リモコンの乾電池の⊕極と⊖極が、正しく入っていない。	•⊕極と⊖極を正しく入れる。	70
	•乾電池そのものの寿命。	•新しい乾電池に交換する。	70
日付または時刻表示が「--:--」になる。	ー	日付、時刻を合わせ直す。	49
外部入力しているのに液晶画面やTVに画像が映らない。(CCD-TRV85Kのみ)	メニューの「画面表示」が「ビデオ出力／パネル」になっている。	「パネル」にする。	43
ビープ音が5秒間鳴りつづける。	•結露している。	•カセットを取り出して、約1時間してからもう一度入れ直す。	63
	•本機に異常が発生している。	•カセットを入れ直し、再度操作し直す。	ー
バッテリー充電中、表示窓に何も表示がでない、または表示が点滅する。	•ACパワーアダプターが外れている。	•電源をきちんと接続する。	9
	•バッテリーが故障している。	•テクニカルインフォメーションセンターまたはソニーサービス窓口にご相談ください。	ー

警告表示とお知らせメッセージ

液晶画面とファインダーには、次のような表示が出ます。詳しい説明は、(　) 内のページにあります。
• 対面撮影中はお知らせメッセージは出ません。
• 表示は実際には白色です。
• ♪はおしらせブザー音の鳴るものです。

バッテリー残量

ファインダー　（お知らせメッセージ）

バッテリーを
取りかえてください

遅い点滅　バッテリー残量表示

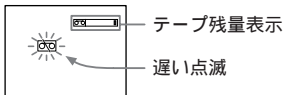
バッテリー残量表示について
InfoLITHIUM(インフォリチウム)バッテリーをお使いのときは分表示も出ます。

(残量表示がになるとマークが点滅する。)

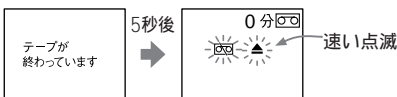
バッテリーの寿命

“ インフォリチウム ”バッテリーをお使いのときのみ表示されます。

このバッテリーは
古くなりました
取りかえてください

テープ残量

テープ残量表示について

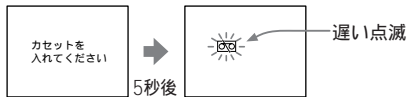
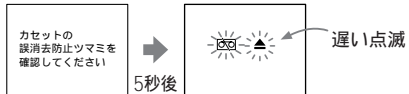
(残量表示が「5分」になるとマークが点滅する。)

♪テープの終わり

日時・時刻の未設定(49ページ)

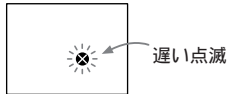
メニューで
日付 時刻を
あわせてください

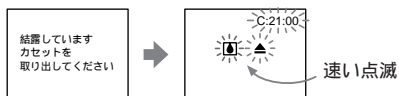
ボタン型リチウム電池の消耗／ボタン型リチウム電池が入っていない(53ページ)

ボタン型
リチウム電池を
取りかえてください

♪カセットが入っていない

♪カセット誤消去防止(54ページ)

カセットの誤消去防止ツマミを確認する。

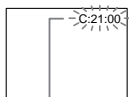
ヘッド汚れ(63ページ)

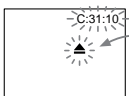
対面撮影時

クリーニングカセットできれいにする。

♪結露(63ページ)

テープを取り出し、カセット入れを開けたまま約1時間放置する。

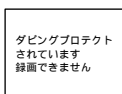
自己診断機能が働いている

（62ページ）

本機が正しく動作していないとき、自己診断表示機能で本機の状態をお知らせしています。「C:□□:□□」のような表示がでたら62ページをご覧ください。

♪その他の異常

一度電源を切り、バッテリーを取りはずす。再びバッテリーを取り付け、電源を入れる。それでも表示が消えないときは、テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

♪コピー禁止（CCD-TRV85Kのみ）

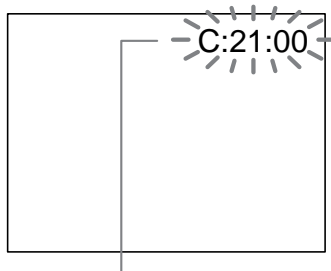
（54ページ）

ダビングプロテクト
されています
録画できません

自己診断表示–アルファベットで始まる表示が出たら

本機には自己診断機能がついています。

これは本機は正しく動作していないときに、ファインダー（または液晶画面）にアルファベットと数字の5桁の表示でお知らせする機能です。表示によって、本機の状態がわかるようになっています。

詳しくは以下の表をご覧になり、各表示に合った対応をしてください。表示の末尾2桁（□□）の数字は、本機の状態によって変わります。

ファインダー（または液晶画面）

自己診断表示
「C:□□:□□」：
お客様自身で正常に戻せる状態
「E:□□:□□」：
テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口に相談していただく状態

表示	原因	対応の仕方	参照ページ
C:21:□□	結露している。	カセットを取り出して、約1時間してからもう1度入れ直す。	63
C:22:□□	ビデオヘッドが汚れている。	別売りのクリーニングカセットできれいにする。	63
C:31:□□ C:32:□□	お客様自身で対応できる上記以外の状態になっている。	•カセットを入れ直し、再度操作し直す。 •電源を一度取りはずし、取りつけ直してから再度操作し直す。	– –
E:61:□□ E:62:□□	お客様自身で対応できない状態になっている。	テクニカルインフォメーションセンター、またはお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。その際は、表示の5桁すべてをお知らせください。 例：E:61:10	–

お客様自身で対応できる場合でも、2、3度繰り返しても正常に戻らないときは、テクニカルインフォメーションセンター、またはソニーサービス窓口にご相談ください。

お手入れ

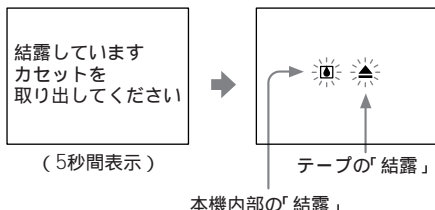
結露について

結露とは、本機を寒い場所から急に暖かい場所へ持ち込んだときなどに、本機の心臓部であるヘッドやテープ、レンズに水滴が付くことです。テープがヘッドに貼り付いて、ヘッドやテープを傷めたり、故障の原因になります。結露が起こると、ファインダーや液晶画面に下のように警告表示が出ます。ただし、レンズの結露では表示は出ません。

結露しています
カセットを
取り出してください

（5秒間表示）

テープの「結露」

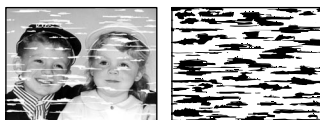
本機内部の「結露」

結露が起きたときは

カセットは直ちに取り出してください。警告表示が出ている間は、カセット取り出しスイッチ以外は働きません。
電源を切ってカセット入れを開けたまま、結露がなくなるまで（約1時間）放置してください。
電源を入れてもお知らせメッセージが出ず、カセットを入れてビデオ操作ボタンを押しても⏏が点滅しなければ使用できます。

ヘッドをきれいにする

ビデオヘッドが汚れると、正常に録画できなかったり、ノイズの多い再生画像になったりします。
次のような症状になったときは、別売りの乾式クリーニングカセットV8-25CLD/V8-25CLDRを使ってヘッドをきれいにしておきましょう。

- ファインダー内または液晶画面に「⊗ヘッドが汚れています」と「クリーニングカセットをつかってください」の表示が交互に出る。または⊗が点滅する。
- 再生画面がザラついている。
- 再生画面が不鮮明。
- 再生画像が出ない。

ビデオヘッドが汚れているときの画像

初期 → 末期

このような画像になったら、
クリーニングカセットをお使いください。

液晶画面をきれいにする

液晶画面に指紋やゴミがついて汚れたときは、別売りの液晶クリーニングキットを使ってきれいにすることをおすすめします。

ビューファインダーをきれいにする（CCD-TRV45Kのみ）

❶ **1.ネジをはずす。2.つまみをずらしながら、3.接眼部を回してはずす。**

❷ **カメラ用のブロワーブラシなどで、ゴミを取り除く。**

❸ **接眼部を元に戻し、1のネジを締める。**

結露が起こりやすいのは

次のように、温度差のある場所へ移動したり、湿度の高い場所で使うときです。

- スキー場のゲレンデから暖房の効いた場所へ持ち込んだとき
- 冷房の効いた部屋や車内から暑い屋外へ持ち出したとき
- スコールや夏の夕立のあと
- 温泉など高温多湿の場所

結露を起こりにくくするために

本機を温度差の激しい場所へ持ち込むときは、ビニール袋に空気が入らないように入れて密封します。約1時間放置し、移動先の温度になじんでから取り出します。

ビデオヘッドは

長時間使用すると摩耗します。クリーニングカセットを使っても鮮明な画像に戻らないときは、ヘッドの摩耗が考えられます。このときは、ヘッドの交換が必要です。テクニカルインフォメーションセンター、お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご相談ください。

主な仕様

システム

録画方式	回転4ヘッドヘリカルスキャン FM方式（SP/LP独立ヘッド）
録音方式	回転ヘッドFM方式
映像信号	NTSCカラー、EIA標準方式
使用可能カセット	8ミリビデオ方式のビデオカセットテープ
録画／再生時間	SPモード：2時間 LPモード：4時間 （120分テープ使用時）
早送り、巻き戻し時間	約5分（120分テープ使用時）
撮像素子	CCD固体撮像素子
ビューファインダー	電子ビューファインダー （CCD-TRV45K:白黒 CCD-TRV85K:カラー）
ズームレンズ	18倍（光学）、72倍（デジタル） f=4.1〜73.8mm （35mmカメラ換算では 47.2〜850 mm） F1.4〜3.0 フィルター径37mm
色温度切り換え	自動追尾
最低被写体照度	5ルクス（F1.4） 0ルクス（NIGHTSHOT時）
被写体照度範囲	5〜100,000ルクス
推奨被写体照度	100ルクス以上

入・出力端子

S映像端子 （CCD-TRV85Kのみ）	入力／出力自動切り換え 4ピンミニDIN 輝度信号：1Vp-p、75Ω不平衡 色信号：0.286Vp-p、75Ω不平衡
映像端子	CCD-TRV45K：出力のみ CCD-TRV85K：入力／出力自動切り換え ピンジャック（1） 75Ω不平衡
音声端子	CCD-TRV45K：出力のみ CCD-TRV85K：入力／出力自動切り換え ピンジャック（L、R） 入力時：327mV、 インピーダンス47kΩ以上 出力時：327mV、(47kΩ負荷時) インピーダンス 2.2kΩ以下
RFU DC出力端子	特殊ミニジャック DC5V
ヘッドホン端子	ステレオミニジャック (Ø3.5)
LANC端子	ステレオミニミニジャック (Ø2.5)
マイク入力端子	ステレオミニジャック 0.388mV、低インピーダンスマイク用 DC2.5〜3.5V、出力インピーダンス6.8kΩ（Ø3.5）
インテリジェントアクセサリーシュー端子 （CCD-TRV85Kのみ）	8ピン特殊コネクター

液晶画面

画面サイズ	3.5型
有効画面領域	72.4mm × 50.4mm (幅×高さ)
使用液晶パネル	TFT（薄膜トランジスタアクティブマトリクス）駆動
総ドット数	105,380ドット 横479×縦220

電源部、その他

電源電圧	バッテリー端子入力7.2V DC端子入力8.4V
消費電力（バッテリー使用時）	ビューファインダーを使ってのカメラ録画時：2.6W 液晶画面を使ってのカメラ録画時：3.6W
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	ー20℃〜+60℃
最大外形寸法	CCD-TRV45K: 114 × 111 × 214mm CCD-TRV85K: 114 × 109 × 204mm (幅×高さ×奥行き)
本体質量	CCD-TRV45K:約 950g CCD-TRV85K:約 940g （本体のみ）
撮影時総質量*	約 1.1kg *バッテリーNP-F330、ボタン型リチウム電池CR2025、120分テープ含む。
内蔵マイクロホン	ステレオ
内臓スピーカー	ダイナミックスピーカー
付属品	ACパワーアダプター AC-L10A（1） バッテリーパック NP-F330（1） ワイヤレスリモコン（1） 単3形乾電池（リモコン用）(2) AV接続ケーブル（1） ボタン型リチウム電池CR2025 (本体に装着済み)（1） 撮り方ビデオ（1） 取扱説明書（1） 安全のために（1） 保証書（1） ソニーご相談窓口のご案内（1）

ACパワーアダプター

電源	AC100〜240V、50/60Hz
定格出力	DC8.4V、1.5A
動作温度	0℃〜+40℃
保存温度	–20℃〜+60℃
最大外形寸法	約125 × 39 × 62 mm （幅/高さ/奥行き）
質量	約280g（本体のみ）
電源コードの長さ	約2m
本体接続コードの長さ	約2m

バッテリーパック NP-F330

電圧	7.2V
容量	5.0Wh（700mAh）
種類	Li-ion

本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

保証書とアフターサービス

必ずお読みください

録画内容の補償はできません
万一、ビデオカメラレコーダーやテープなどの不具合により録画や再生ができなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書は国内に限られています
このビデオカメラレコーダーは国内仕様です。外国で万一、事故、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

保証書

この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。所定事項の記入および記載内容をお確かめの上、大切に保存してください。
保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

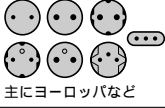
調子が悪いときはまずチェックを
”故障かな？と思ったら ”の項を参考にして故障かどうかお調べください。

それでも具合の悪いときは
テクニカルインフォメーションセンター（本書の裏面参照）、お買い上げ店、または添付の“ ソニーご相談窓口のご案内 ”にあるお近くのソニーサービス窓口にご相談ください。

保証期間中の修理は
保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

保証期間経過後の修理は
修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

部品の保有期間について
当社はビデオカメラレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

海外で使うとき

本機は外国でもお使いになれます

付属のACパワーアダプターAC-L10A は、AC100V～240V・50/60Hzの広範囲な電源でお使いいただけます。

また、バッテリーも充電できます。ただし、電源コンセントの形状の異なる国では、電源コンセントにあった変換プラグアダプターをあらかじめ旅行代理店でおたずねの上、ご用意ください。

再生画像を見るには、日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）で、映像/音声入力端子付きのテレビ（またはモニター）および接続ケーブルが必要です。

海外のコンセントの種類

壁のコンセントの形状例	主に北米、南米など	主にヨーロッパなど
使用する変換アダプター	**不要です。** ACパワーアダプターのプラグを直接差し込みます。	

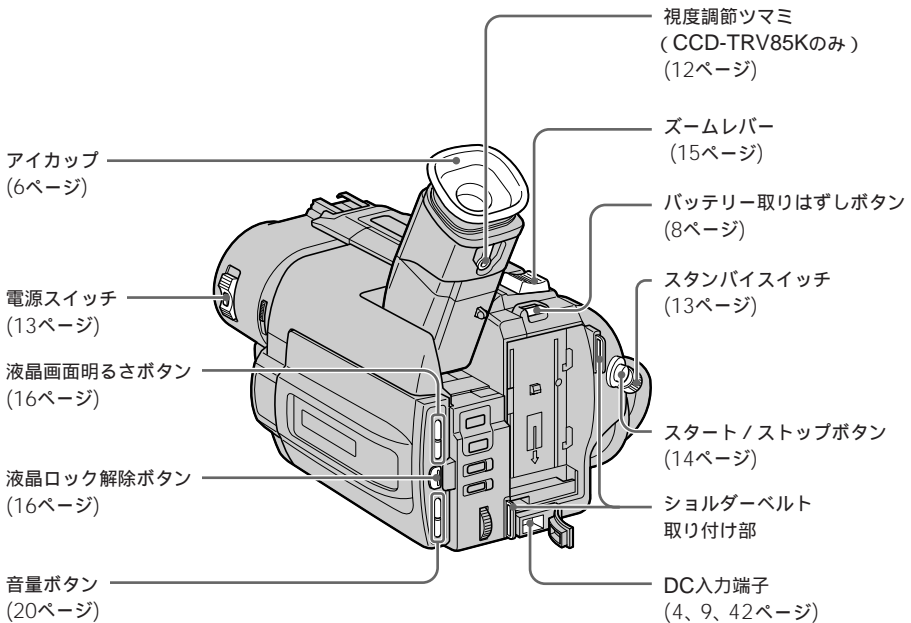
日本と同じカラーテレビ方式（NTSC）を採用している国または地域（五十音順）

- アメリカ合衆国
- エクアドル
- エルサルバドル
- カナダ
- キューバ
- グアテマラ
- グアム
- コスタリカ
- コロンビア
- スリナム
- セントルシア
- 大韓民国
- 台湾
- チリ
- ドミニカ
- トリニダードトバコ
- ニカラグア
- ハイチ
- パナマ
- バミューダ
- バルバドス
- フィリピン
- プエルトリコ
- ベネズエラ
- ペルー
- 米領サモア
- ボリビア
- ホンジュラス
- ミクロネシア
- ミャンマー
- メキシコ

（NHK文研月報による）

各部のなまえ

使いかたの説明は、(　)内のページにあります。

本体

デモンストレーションについて

メニューで設定しますが以下の手順でもデモンストレーションが見られます。

ただしNIGHTSHOTが「入」になっていると、デモンストレーションは見られません。

1. カセットを取り出して、電源スイッチを「ビデオ」にする。
2. スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
3. ▷再生ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

デモンストレーションが出ないようにするには

1. 電源スイッチを「ビデオ」にする。
2. スタンバイスイッチを「スタンバイ」にする。
3. □停止ボタンを押しながら電源スイッチを「カメラ」にする。

インテリジェントアクセサリーシューについて
(CCD-TRV85Kのみ)

- 別売りの専用マイクやビデオライトなどをお使いになると、本機から電源を供給できます。
- 本機のスタンバイスイッチに連動して、アクセサリーの電源の入／切ができます。（お使いになるアクセサリーの取扱説明書を合わせてご覧ください。）
- 取り付けたアクセサリーが外れて落ちたりしないように、外れにくい構造になっています。アクセサリーを取り付けるときは、押しながら奥まで差し込み、取付ネジを確実に締め付けてください。
- アクセサリーを取りはずすときは、取付けネジをゆるめ、上から押しながらはずしてください。

次のページへつづく

各部のなまえ（つづき）

スタート／ストップモードスイッチ
(15ページ)

スピーカー
(20ページ)

液晶画面
(16ページ)

ボタン型リチウム電池入れ
(53ページ)

ピクチャーエフェクトボタン
(28ページ)

フェーダーボタン
(25ページ)

逆光補正ボタン
(23ページ)

プログラムAEボタン
(31ページ)

明るさボタン
(29ページ)

コントロールダイヤル
(27ページ)

メニューボタン
(43ページ)

カウンターリセットボタン
(14ページ)

時刻ボタン
(38ページ)

日付ボタン
(38ページ)

画面表示ボタン
(20ページ)

タイトルボタン
(34ページ)

エンドサーチボタン
(18ページ)

この純正マークは、ソニー（株）のビデオ機器関連商品が純正製品であることを表すマークです。

ソニー（株）のビデオ機器をお求めの際は, 純正マークもしくはソニーロゴタイプが表示されているビデオ機器関連商品をご購入されることをおすすめします。

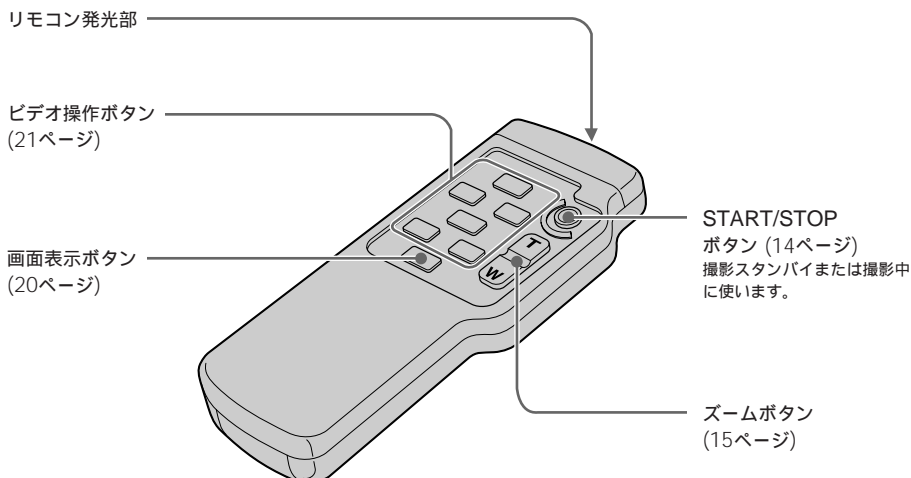
その他

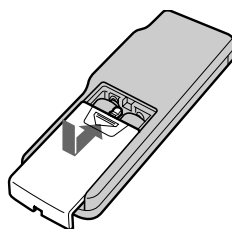
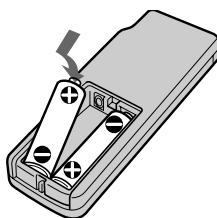
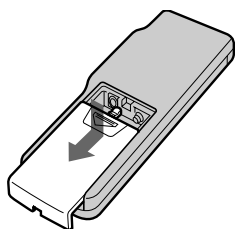
LANC (リモート) マークについて
は、LANC端子のマークです。LANC端子とは、ビデオ機器と周辺機器を接続し、テープ走行などをコントロールできるようにした端子です。

別売りの外部マイクを使う場合
マイク (プラグインパワー) 端子はプラグインパワー方式の外部マイク用電源端子とマイク入力端子が兼用になった端子です。2ピンプラグのマイクの場合は、DC出力端子を外部マイク用電源端子としてお使いください。この場合、風音低減機能は働きません。

ヘッドホンを使うと
スピーカーから音は出ません。

次のページへつづく

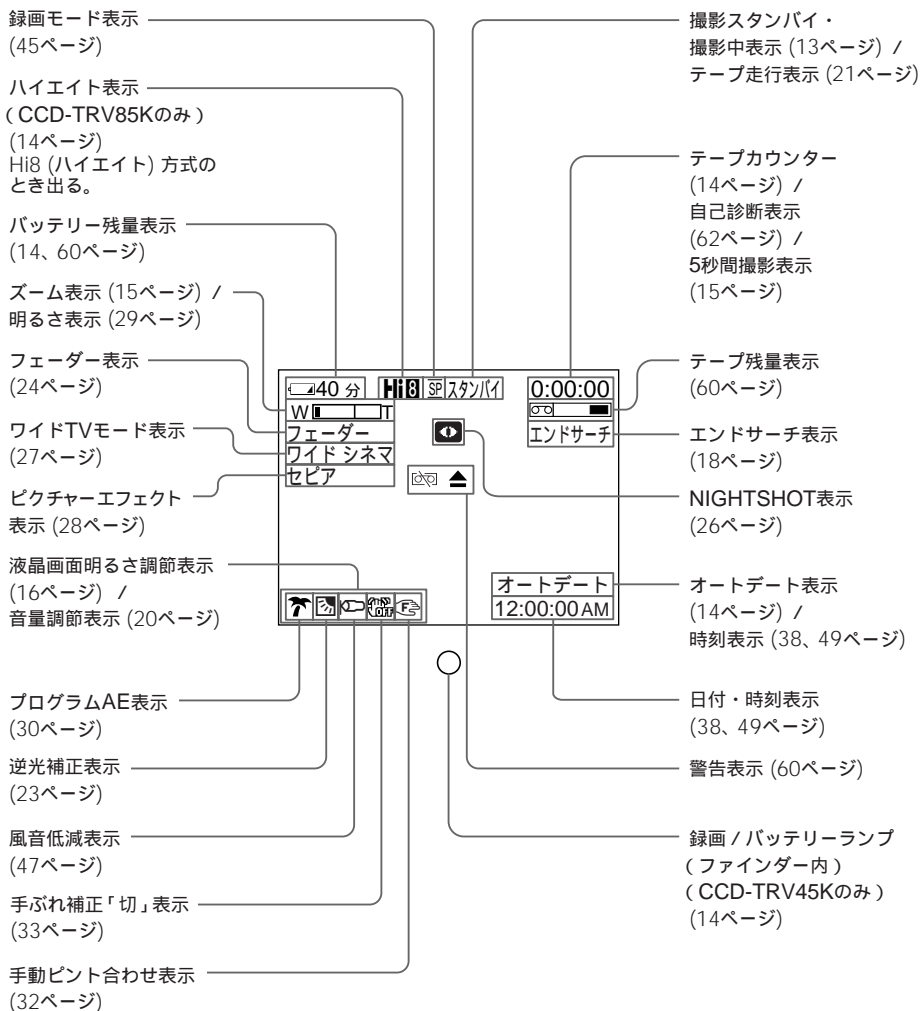
ワイヤレスリモコン

電池の入れかた

❶ 押しながらずらす。 ❷ 入れる。 ❸ 元に戻す。

リモコンについて

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光があたらないようにご注意ください。リモコン操作ができないことがあります。
- 付属のリモコンで本機を操作しているときに、他のビデオデッキが誤動作することがあります。その場合、ビデオデッキのリモコンモードスイッチをVTR2以外のモードに切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさいでください。

ファインダーと液晶画面の表示

その他

次のページへつづく

表示窓の表示

警告表示
（60ページ）
ハイエイト表示
（CCD-TRV85K**のみ）**
（14ページ）
Hi8（ハイエイト）
方式のとき出る。
Hi8
FULL
SP
LP
88:88:88
min
AM
PM
満充電表示
（9ページ）
録画モード表示
（45ページ）
バッテリー残量表示
（9、14、60ページ）
テープカウンター表示
（14ページ）／
日付・時刻表示
（38、49ページ）／
自己診断表示
（62ページ）／
バッテリー残量表示
（9、14、60ページ）

用語解説

カ行

逆光補正 …23ページ
逆光で被写体が黒っぽく映るのを防ぐ機能。本機は画面全体で明るさをいつも一定の量に保つ働きがある。逆光で撮影するときにもこの一定の「量」を保とうとして、被写体が暗めになる。逆光補正の機能を使うと、この「量」が多くなり被写体を明るめに自動調節する。

サ行

撮影スタンバイ…13ページ
「撮影を待機する・準備する」という意味。スタンバイスイッチを上げ、撮影一時停止で次の撮影を待機している状態。

自動ピント合わせ…32ページ
横方向に走査する映像信号からピントを検出する機能。そのため、被写体が横じまだけのものや背景とのコントラストの低いものは、自動でピントが合いにくいことがある。

視度調節…12ページ
ビューファインダー内の接眼レンズの位置を動かし、撮る人の視力に合わせて、ファインダーの画像がはっきり見えるように調節すること。

タ行

手ぶれ補正 …33ページ
カメラの揺れを感知して、その揺れを補正する機能。手ぶれ補正を使用しても画質や画角、消費電力は変わらない。

ナ行

ノイズ
静止画やピクチャーサーチの画像などに出る、横すじ状の線や画像の乱れ。

ハ行

プログラムAE（エーイー） …30ページ
被写体や撮影状況により適した撮影を可能にする機能。本機には6種類のモードがある。
シャッタースピードやアイリス（絞り）をモードにより自動で調節する。

ヘッド…63ページ
映像や音声信号をテープに記録したり、テープに記録されている信号を読み取ったりする本機の心臓部分。使っているうちに汚れて、きれいに再生できなくなったときは、クリーニングカセットを使ってきれいにする。

ラ行

リモコンモード…70ページ
リモコン信号の種類。ソニー製ビデオ機器間でのリモコンによる誤動作を防ぐために、VTR1・VTR2・VTR3の3種類がある。本機はVTR2。編集時は、他のソニー製ビデオデッキをVTR2以外に切り換えるか、黒い紙でリモコン受光部をふさぐ。

ワ行

ワイドTVモード …27ページ
再生したときにワイド画面（横:縦＝16:9）になるように撮影するときの設定。ワイドシネマ、ワイドフルの2種類がある。

ワイドシネマ
横縦比4:3の画像の上下に黒い帯を入れて横縦比を16:9にしてテープに記録する。映る範囲は狭くなるがふつうのテレビで再生したときに横縦比16:9で再生される。

ワイドフル
横縦比16:9のワイドテレビで再生したときに画面いっぱいに映るように画像を縦長に圧縮して記録する。横縦比4:3のふつうのテレビで再生すると縦長に押しつぶされた映像になる。

次のページへつづく

アルファベット順

AFM Hi-Fi(エーエフエムハイファイ)ステレオ…54ページ
スタンダード方式8ミリビデオでAFM Hi-Fiモノラル方式である標準音声トラックをステレオ化したもの。臨場感にあふれ、立体感のある明瞭度の高いステレオ音声。

DNR(ディーエヌアール) …46ページ
Digital(デジタル) Noise(ノイズ) Reduction(リダクション)の略。フィールドメモリーを利用して前後の映像信号を合成してノイズを削減する機能。再生時の色信号とカメラ録画時のノイズの削減に大いに役立つ。

ID-1(アイディーワン)方式…27ページ
ビデオ信号の一部にデジタルのID記号を加算することにより画面の縦横比（16:9、4:3またはレターボックス）の情報を記録するシステムの名称。

LP/SP(エルピーエスピー)モード …45ページ
Long(ロング) playing(プレイング) mode(モード)とStandard(スタンダード) playing(プレイング) mode(モード)の略でテープスピードモードの名称。
LPモードはSPモードの録画時間の2倍になる。

NIGHTSHOT(ナイトショット)…26ページ
夜間赤外線を利用して明かりのない暗い場所でも目に見えないものを撮影できる機能。

NTSC(エヌティーエスシー)方式…65ページ
日本やアメリカなどで使われているカラーテレビ方式。NTSC方式で記録されたテープは、ヨーロッパなどで使われているPAL(パル)やSECAM(セカム)方式のビデオでは再生できない。
海外で本機を使うときは、ご注意ください。

ORC(オーアールシー)設定…39ページ
テープやヘッドの状態を自動的に判断して、最適な画質で録画する機能。一度設定すればテープを出さないかぎり設定は保持される。

RFU(アールエフユー)アダプター…22ページ
ビデオの映像・音声信号をテレビ電波と同じ信号に変換して、テレビの1または2チャンネル（国内仕様の場合）で再生できるようにするもの。

S(エス)映像端子…22ページ
映像信号を構成する色信号と輝度（白黒）信号を分離して、より鮮明な映像を再現する端子。Hi8 (ハイエイト) 方式に適している。

TBC(ティービーシー) …46ページ
Time(タイム) Base(ベース) Corrector(コレクター)の略。メカニズムのトルク変動によって発生する映像信号の時間軸誤差－ジッター（画像の微妙な横ユレ）を、デジタル技術を用いて、正しく補正させる機能。他のビデオデッキやビデオカメラレコーダーで記録したテープを再生するときに、大いに役立つ。

索引

ア行

カ行

サ行

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ラ行

ワ行

アルファベット順

こんなときはこの機能

撮影するとき

撮影状況に合わせたい

明るい
　スキー場、真夏の海岸
　　→ビーチ＆スキーモード（30ページ）
　舞台、結婚式
　　→スポットライトモード（30ページ）
　白い服の人物が白い壁の前にいる
　　→逆光補正（23ページ）
　背後に光があり顔が暗くなる
　　→逆光補正（23ページ）
暗い
　夜景、夕景、花火
　　→サンセット＆ムーンモード（30ページ）
　明りの無い場所で撮りたい
　　→NIGHTSHOT（26ページ）
風が強い
　→メニュー：風音低減（43ページ）
撮りたいところが広い
　→風景モード（30ページ）
列車から窓の外を撮る
　→風景モード（30ページ）
被写体の動きが速い
　ゴルフスイングなど
　　→スポーツレッスンモード（30ページ）
三脚が使える
　→手ぶれ補正解除（33ページ）

画像をこうしたい

より自然な感じにしたい
　→手ぶれ補正解除（33ページ）
効果的な場面転換をしたい
　→フェードイン、フェードアウト（24ページ）
被写体を引き立てたい
　→ソフトポートレートモード（30ページ）
映画のように横長の画像にしたい
　→ワイドＴＶモード（27ページ）
意図的にピントを合わせたい
　→手動ピント合わせ（32ページ）
タイトルを出したい
　→タイトル機能（34ページ）
ズーム時の画質の低下を抑えたい
　→メニュー：デジタルズーム（43ページ）
画像にデジタル処理をしたい
　→ピクチャーエフェクト（28ページ）
テープの状態に合わせて録画したい
　→メニュー：ORC設定（43ページ）

再生するとき

モノラル音声、副音声で再生したい
　→メニュー：バイリンガル（43ページ）
画面のゆれを補正したい（CCD-TRV85Kのみ）
　→メニュー：TBC（43ページ）
画像の色ノイズを軽減したい（CCD-TRV85Kのみ）
　→メニュー：DNR（43ページ）
液晶画面の色が変
　→液晶画面の色のこさを調節する（48ページ）

ご案内

ソニーではお客様の技術相談窓口として「テクニカルインフォメーションセンター」を開設しています。
お使いになって不明な点や技術的な相談は下記までお問い合わせください。

テクニカルインフォメーションセンター
電話：0574-28-8088
受付時間：月〜土曜日　午前9時〜午後7時
（ただし、年末、年始、祝日を除く）

ご相談になるときは次のことをお知らせください

- 型名：CCD-TRV45K/TRV85K
- 故障の状態：できるだけ詳しく
- お買い上げ年月日

ソニー株式会社　〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35
お問い合わせはお客様ご相談センターへ
●東京(03)5448-3311 ●名古屋(052)232-2611 ●大阪(06)539-5111
Printed in Japan